



MS341-12041/2/3/4 フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDフロントスポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS341-12041-A1	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	カローラアクシオ カローラフィールダー '17.10~ LED有仕様
MS341-12041-C0	ブラックマイカ (209)	
MS341-12041-C1	ブラックシュアゲハガラスブレーク (221)	
MS341-12042-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	カローラアクシオ カローラフィールダー '17.10~ LED無仕様
MS341-12043-A1	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	
MS341-12043-C0	ブラックマイカ (209)	
MS341-12043-C1	ブラックシュアゲハガラスブレーク (221)	
MS341-12044-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。http://www.trdparts.jp/

■ 構成部品

No.	品名	個数	備考
①	フロントスポイラー	1	
②	タッピングスクリュー	5	6×16
③	グロメット	5	
④	ゴムワッシャー	2	
⑤	スクエアヘッドボルト	2	6×15
⑥	ナットクリップ	2	
⑦	クリップ	2	
⑧	ゴムワッシャー	2	
⑨	型紙	1	
⑩	取付・取扱要領書(本書)	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。
以下、MS341-12042/4-NP(未塗装品セット)のみに同梱

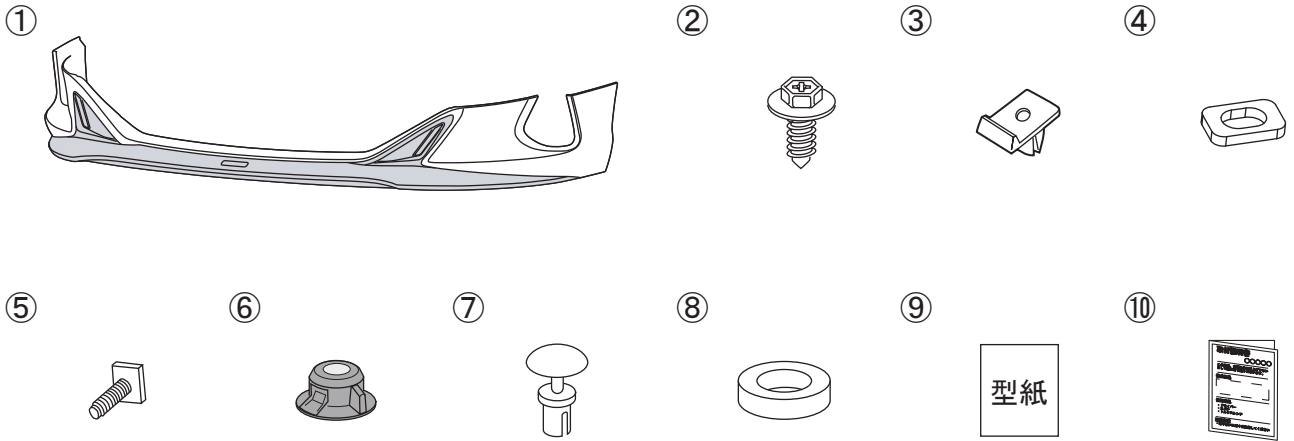
No.	品名	個数	備考
⑪	モール	(各1)	黒/グレー L=950mm
⑫	モール	1	黒 L=1100mm
⑬	PACプライマー	1	K-500
⑭	抜きマスキングテープ	(各1)	R/L
⑮	エンブレム	1	

以下、MS341-12041/2-**(LED有仕様)のみに同梱

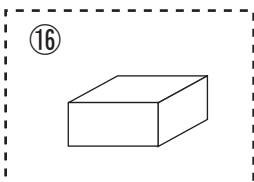
備考

No.	品名	個数	備考
⑯	LEDキット	1	

■ 構成部品図



①②③④⑤は未塗装品にのみ同梱



①⑥はLED有仕様にのみ同梱

取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール（IPA）または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

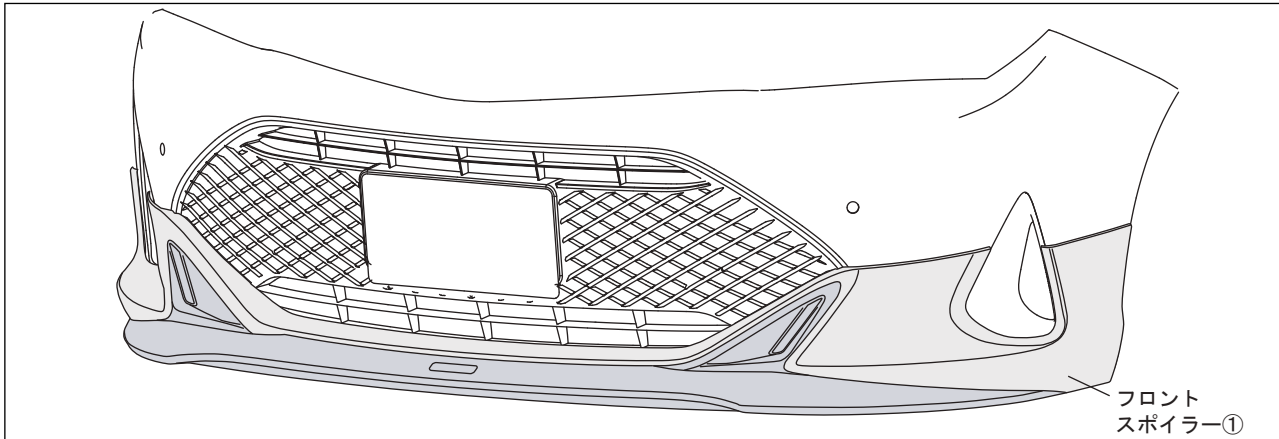
■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1 ~ 2
2. 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 4
4. 取付け要領 4 ~ 12
5. 取付け後の確認・点検 12

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター、エアソー、ドリル、キリ、ホルソー等)・ヤスリ
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

■ 取付構成図

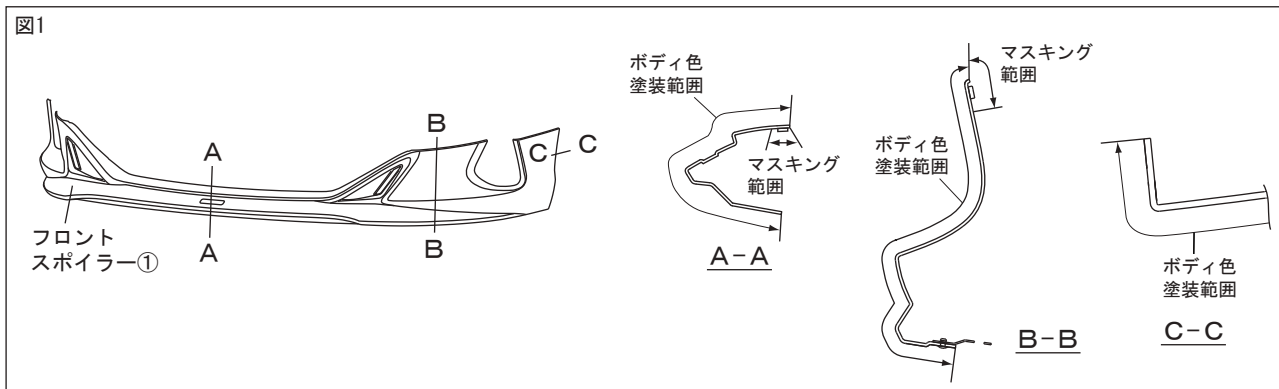


■ 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

□ フロントスポイラーの塗装

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

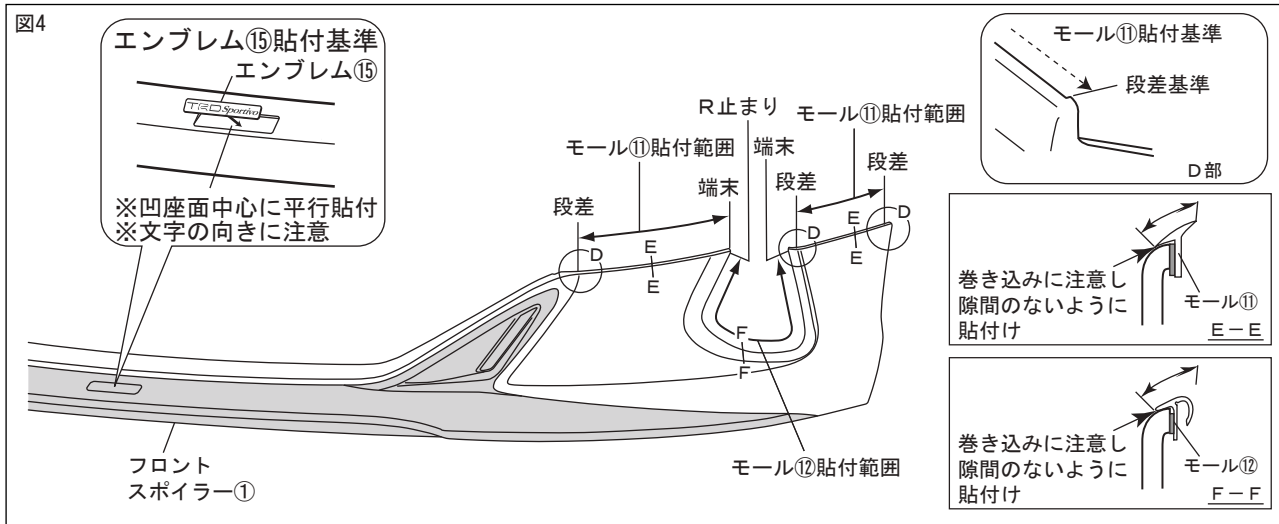


1. 図1のようにフロントスポイラー①をボディ色で塗装する。

⚠注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。



4. 図4のようにフロントスポイラー①に、モール⑪⑫の離型紙を剥がしながら、貼付け確実に圧着する。
{ 49 N (5 k g f) 以上 }
5. 図4のように脱脂した座面にエンブレム⑮を貼付ける。

アドバイス：モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

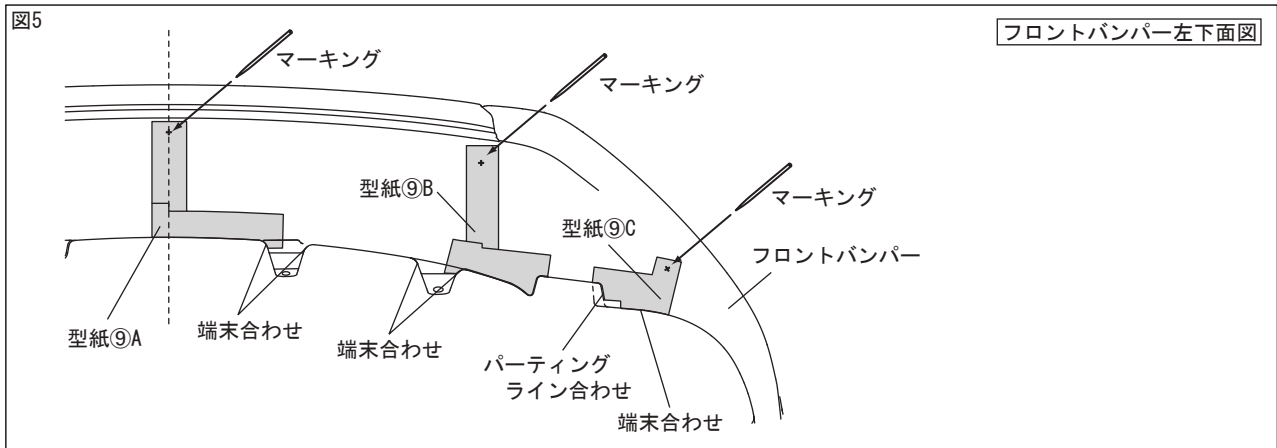
△注意：モール⑪は、二色同梱されています。下記の推奨カラー表を参照してください。

■ モール設定 推奨カラー表

カラーNo.	カラー名	推奨モール色
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	グレー
209	ブラックマイカ	ブラック
221	ブラッキッシュアゲハガラスブレイク	ブラック
3T3	レッドマイカ	ブラック

□取付準備

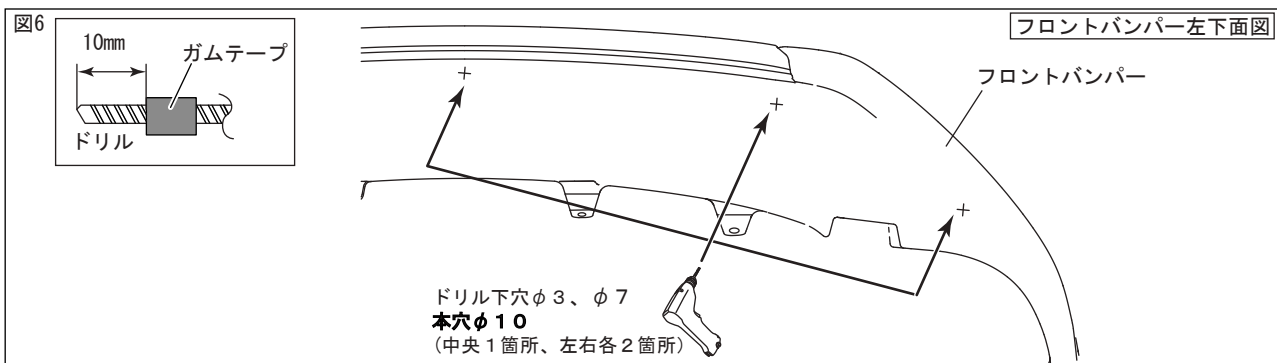
※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



1. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーを取り外す。

⚠注意：取外した車両部品は再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

2. 型紙⑨A/B/Cを剥がし、図5のようにフロントバンパーに貼付け、マーキングする。
(中央1箇所、左右各2箇所)
3. フロントバンパーから型紙を剥がす。

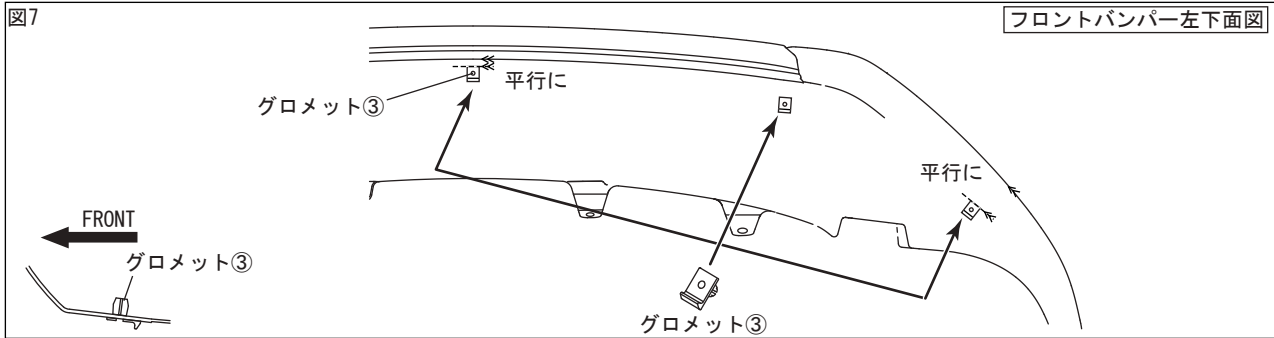


4. 図6のようにφ3、φ7、φ10のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3、φ7のドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。
(中央1箇所、左右各2箇所)
5. 図6のようにφ10のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(中央1箇所、左右各2箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

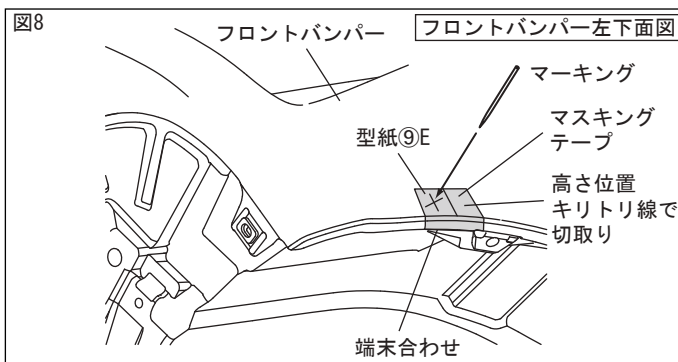
⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。



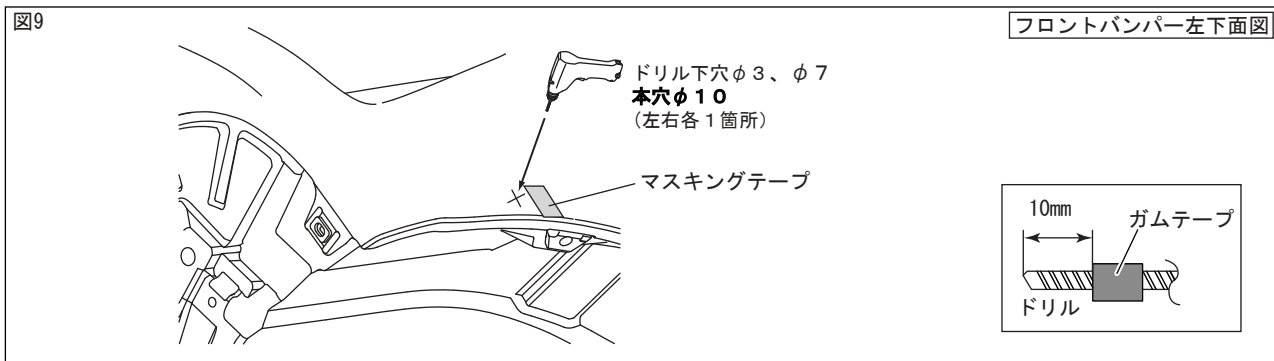
6. 図7のように前作業で穴あけ加工をした穴にグロメット③を差し込む。(中央1箇所、左右各2箇所)

⚠ 注意：図のようにグロメットの差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとフロントスポイラーが取付かなくなります。



7. 型紙⑨Eを剥がし、図8のようにフロントバンパーのホイールハウス端末部に合わせて貼付け、マーキングする。(左右各1箇所)

8. 取付高さ位置で切り取りフロントバンパーから型紙⑨Eを剥がす。(左右各1箇所)



9. 図9のようにφ3、φ7、φ10のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3、φ7のドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。(左右各1箇所)

10. 図9のようにφ10のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。(左右各1箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠ 注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

図10

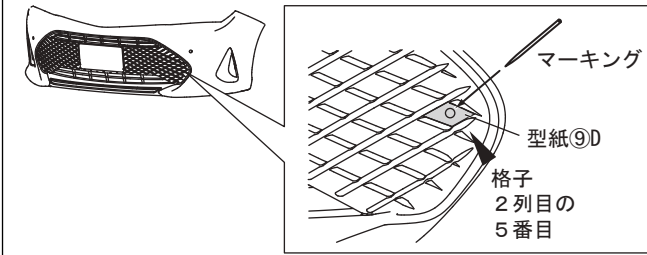


図11

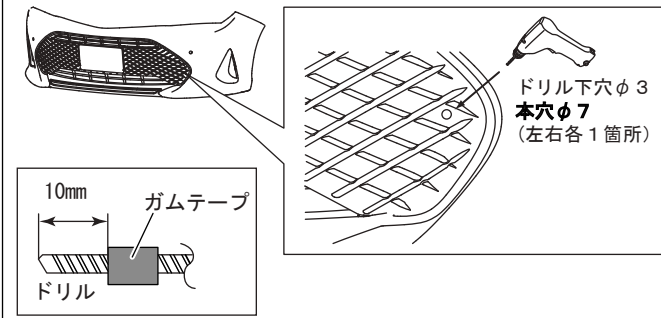


図12

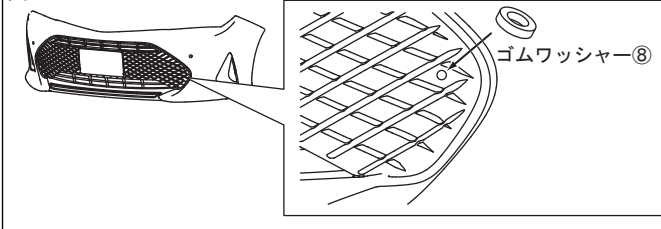


図13

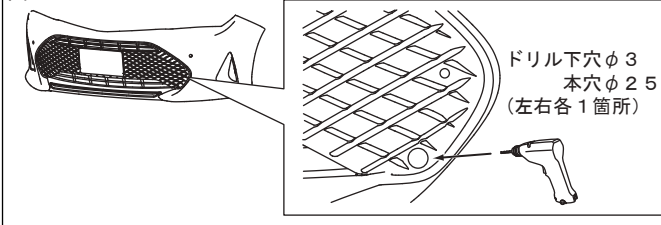
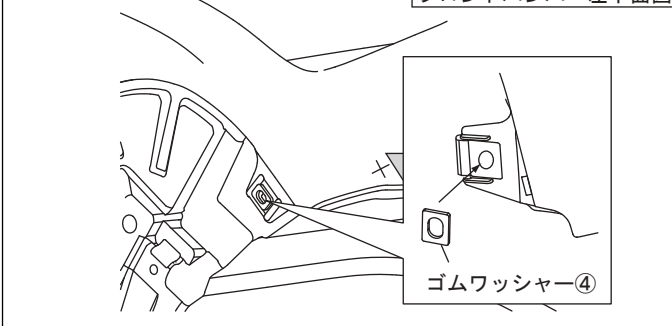





図14



11. 型紙⑨Dを剥がし図10のようにフロントバンパーのグリルの格子に合わせて貼付け、マーキングする。(左右各1箇所)
12. フロントバンパーから型紙⑨Dを剥がす。
13. 図11のようにφ3、φ7のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3のドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。(左右各1箇所)
14. 図11のようにφ7のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。(左右各1箇所)

 **アドバイス:** 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

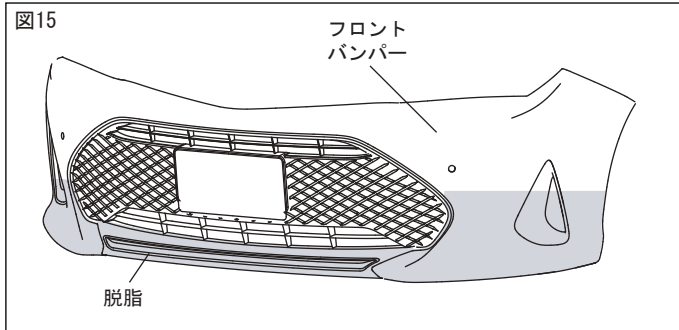
 **注意:** 作業時は保護メガネを着用してください。

 **注意:** バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

15. 図12のようにフロントバンパーの穴あけした場所に下側にゴムワッシャー⑧を貼り付ける。(左右各1箇所)

※LED有りの場合のみ作業を行ってください。

16. 図13のようにφ3のドリルを使用して下穴をあけ、φ25のホールソーで本穴をあける。(左右各1箇所)
17. 図14のようにフロントバンパーホイールハウス部の下側にゴムワッシャー④を貼り付ける。(左右各1箇所)



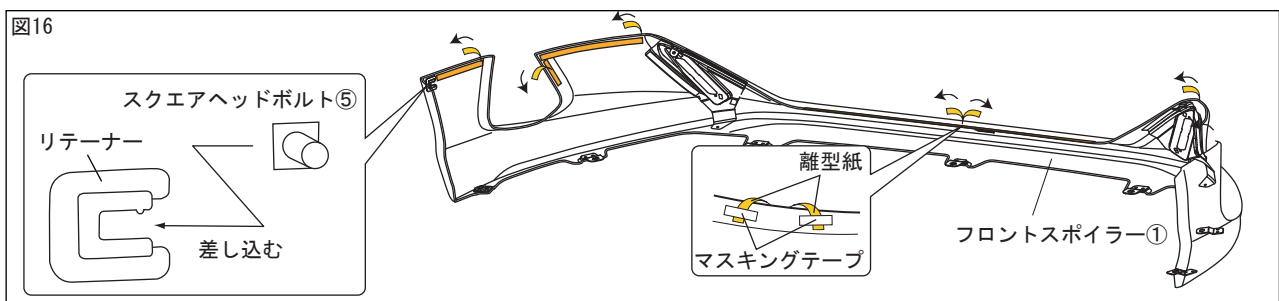
18. 図15のようにフロントスポイラー①取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂する。

⚠注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下、IPAという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

👉アドバイス：脱脂作業要領書（別紙）を参照してください。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

★LEDデイトイムランプの取付けは、LEDデイトイムランプ取付要領書に従い、取付け作業を行ってください。



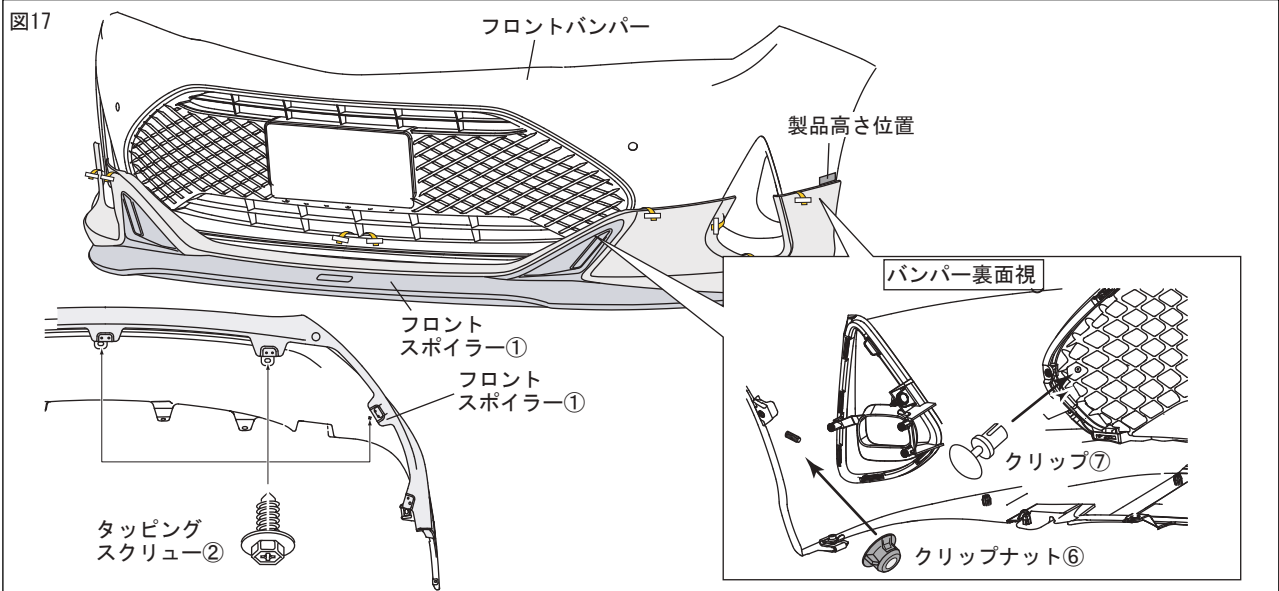
19. 図16の拡大図のようにフロントスポイラー①に付いているリテーナーに、スクエアヘッドボルト⑤を差し込む。
(左右各1箇所)

20. 図16のようにフロントスポイラー①の離型紙を、中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各4箇所)

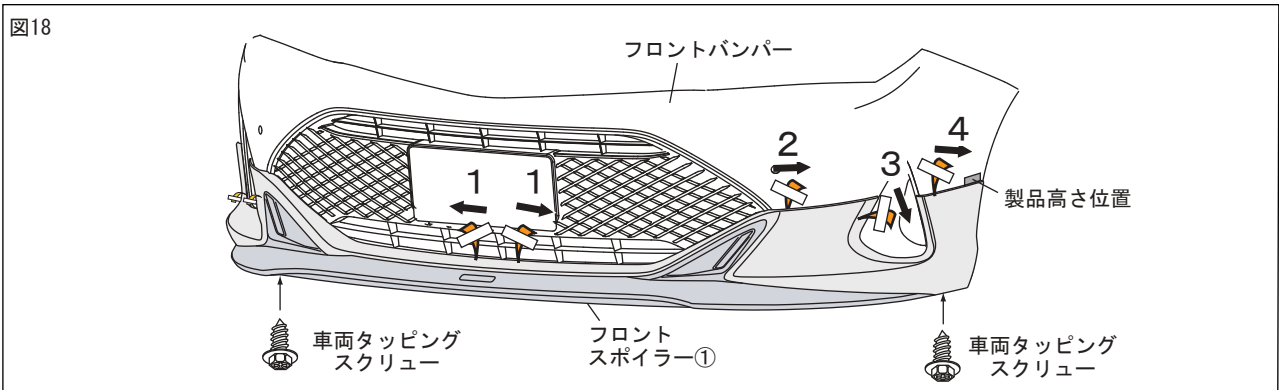
⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

□取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



- 図17のようにフロントバンパーにフロントスポイラー①をかぶせるて、フロントバンパー裏側のホイールハウス部のフロントスポイラー①をクリップナット⑥で仮締めをする。 (左右各1箇所)
- 図17のようにフロントバンパー裏側をクリップで固定する。 (左右各1箇所)
- 図17のようにフロントスポイラー①下面をタッピングスクリュー②とで本締めをする。 (中央1箇所、左右各2箇所)



- 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーを車両に戻す。
- 図18のようにフロントスポイラー①下面を車両タッピングスクリューで本締めをする。 (左右各1箇所)
- 図18のようにフロントバンパーのグリルにフロントスポイラー①の凸部を突き当てて、ホイールハウス部を製品高さ位置に合わせて、左右のズレ、隙が無いか確認し、両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。 {49N (5kgf) 以上} (左右各4箇所)

⚠ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

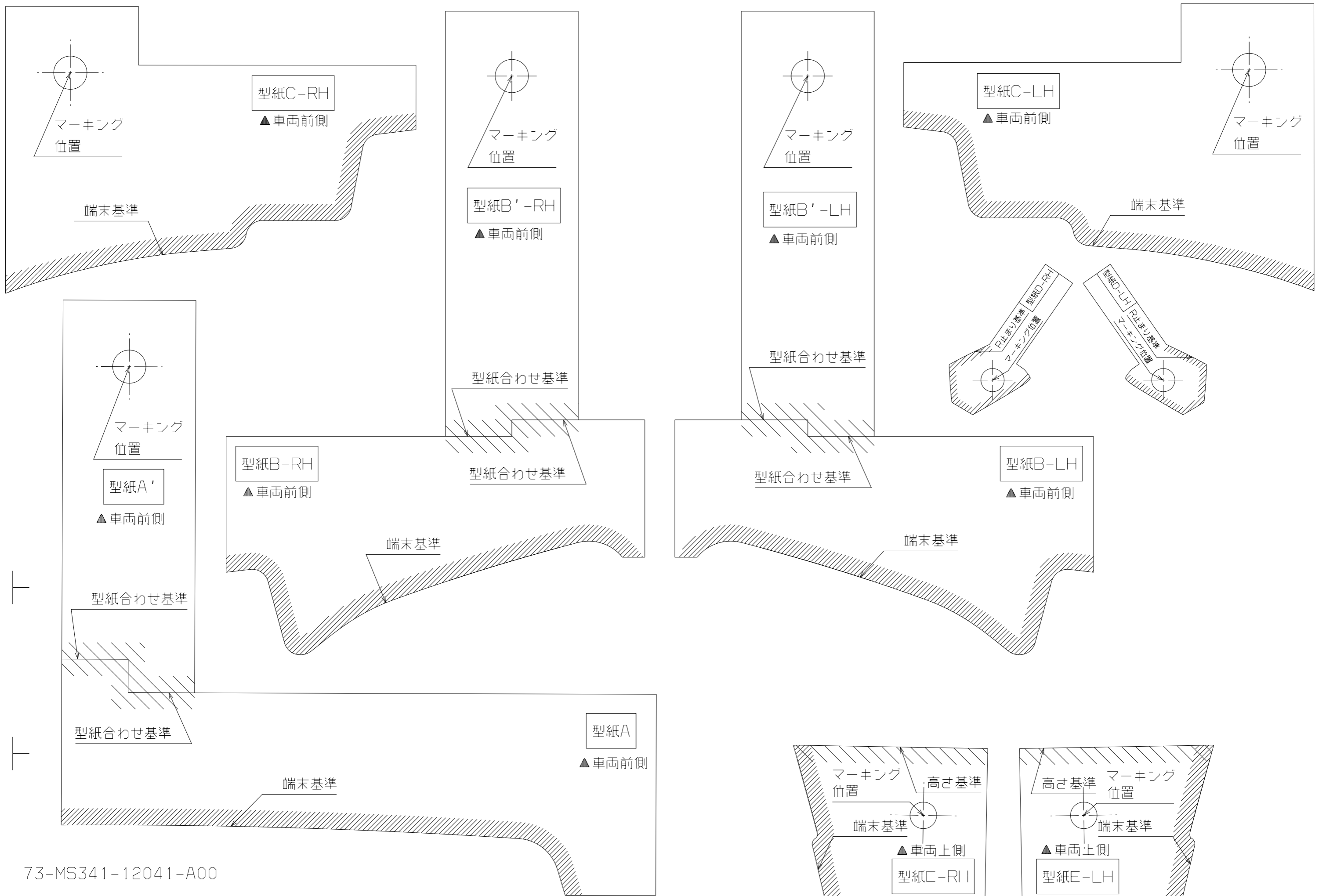
👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

7. 製品高さ位置の型紙をはがし、2. で仮止めしたクリップナット⑤を本締めする。

■取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラーがタッピングスクリュー、クリップナットにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地
TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122
<http://www.trdparts.jp/>



73-MS341-12041-A00



MS341-12041/2/3/4 フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDフロントスポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS341-12041-A1	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	カローラアクシオ カローラフィールダー '17.10~ LED有仕様
MS341-12041-C0	ブラックマイカ (209)	
MS341-12041-C1	ブラックシュアゲハガラスブレーク (221)	
MS341-12042-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	カローラアクシオ カローラフィールダー '17.10~ LED無仕様
MS341-12043-A1	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	
MS341-12043-C0	ブラックマイカ (209)	
MS341-12043-C1	ブラックシュアゲハガラスブレーク (221)	
MS341-12044-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。http://www.trdparts.jp/

■ 構成部品

No.	品名	個数	備考
①	フロントスポイラー	1	
②	タッピングスクリュー	5	6×16
③	グロメット	5	
④	ゴムワッシャー	2	
⑤	スクエアヘッドボルト	2	6×15
⑥	ナットクリップ	2	
⑦	クリップ	2	
⑧	ゴムワッシャー	2	
⑨	型紙	1	
⑩	取付・取扱要領書(本書)	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。
以下、MS341-12042/4-NP(未塗装品セット)のみに同梱

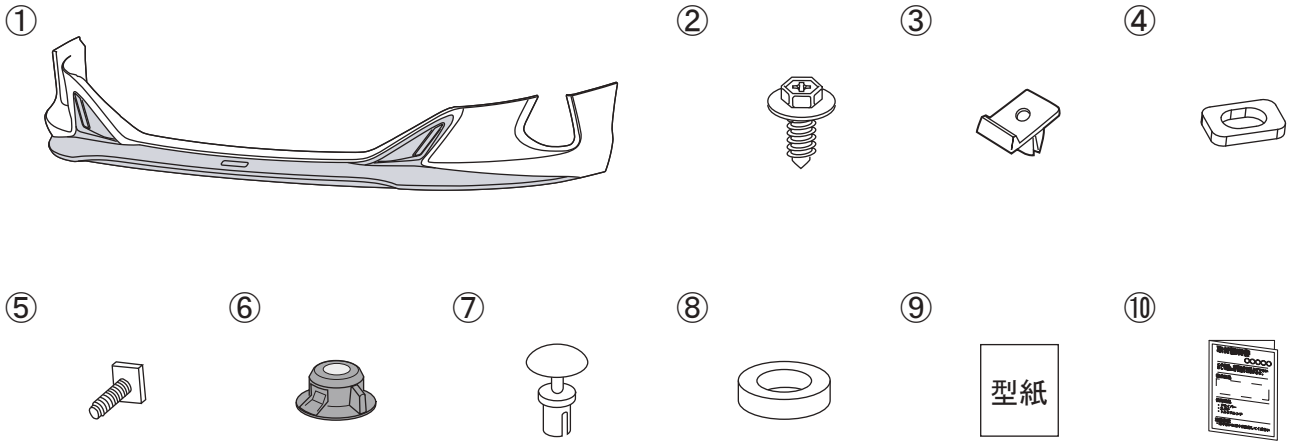
No.	品名	個数	備考
⑪	モール	(各1)	黒/グレー L=950mm
⑫	モール	1	黒 L=1100mm
⑬	PACプライマー	1	K-500
⑭	抜きマスキングテープ	(各1)	R/L
⑮	エンブレム	1	

以下、MS341-12041/2-**(LED有仕様)のみに同梱

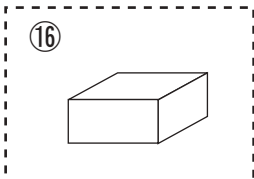
備考

No.	品名	個数	備考
⑯	LEDキット	1	

■ 構成部品図



①②③④⑤は未塗装品にのみ同梱



①⑥はLED有仕様にのみ同梱

取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール（IPA）または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

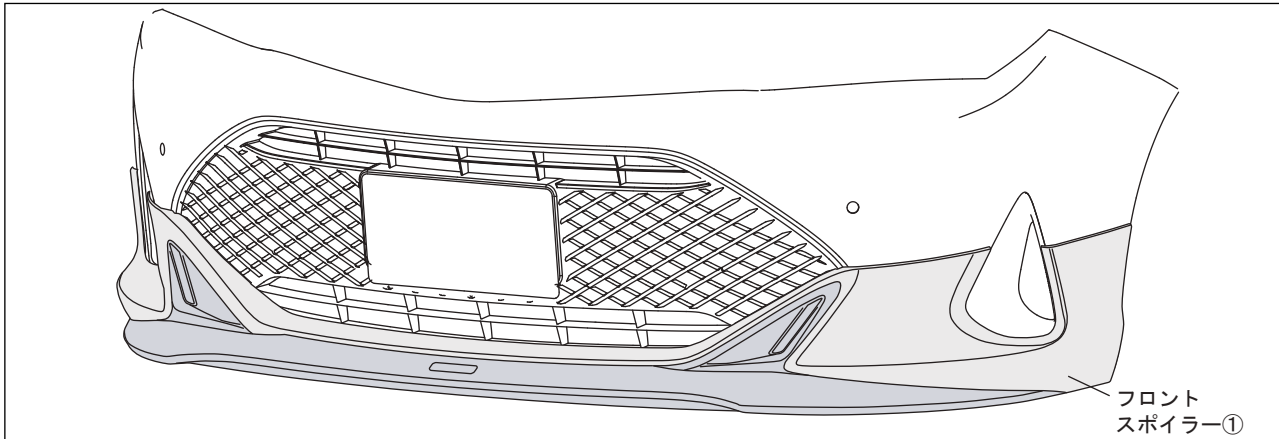
■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1 ~ 2
2. 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 4
4. 取付け要領 4 ~ 12
5. 取付け後の確認・点検 12

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター、エアソー、ドリル、キリ、ホルソー等)・ヤスリ
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

■ 取付構成図

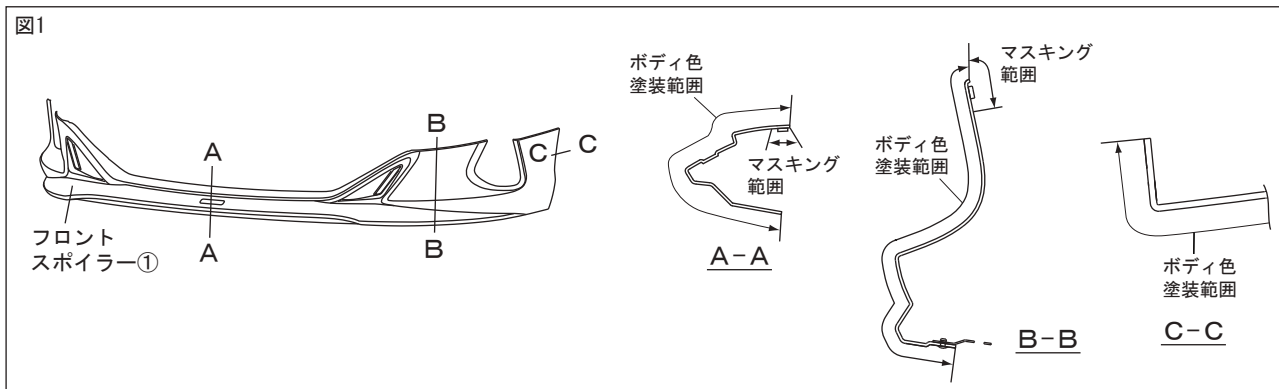


■ 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

□ フロントスポイラーの塗装

※本取付・取扱い要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



1. 図1のようにフロントスポイラー①をボディ色で塗装する。

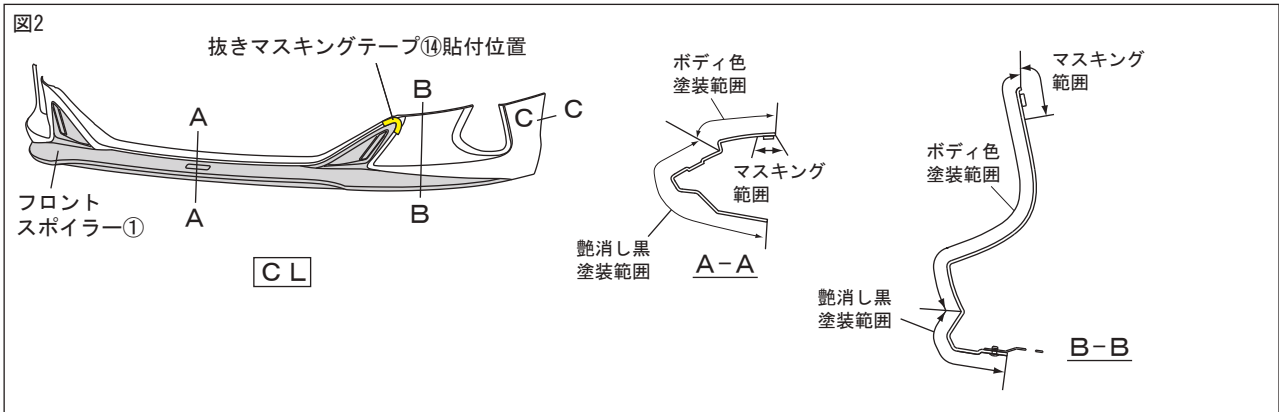
⚠注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

□ ツートン塗装

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



2. 図2のようにボディ色塗装範囲をマスキングし、艶消し黒(グロス10)で塗装する。

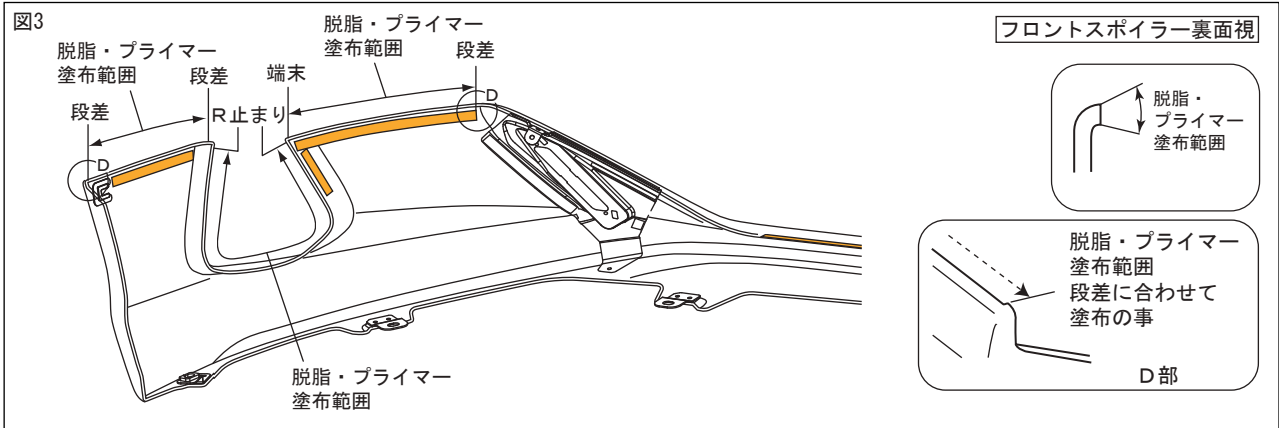
△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

□ モールの貼付け

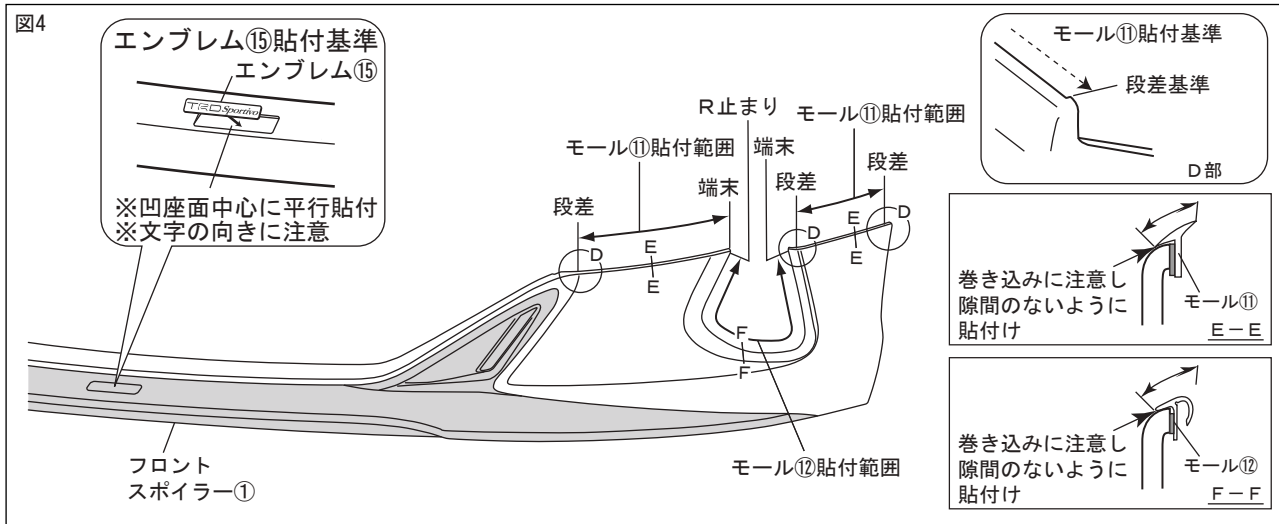
※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



3. 図3のようにモール貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマー⑬を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



4. 図4のようにフロントスポイラー①に、モール⑪⑫の離型紙を剥がしながら、貼付け確実に圧着する。
{ 49 N (5 k g f) 以上 }
5. 図4のように脱脂した座面にエンブレム⑮を貼付ける。

アドバイス：モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

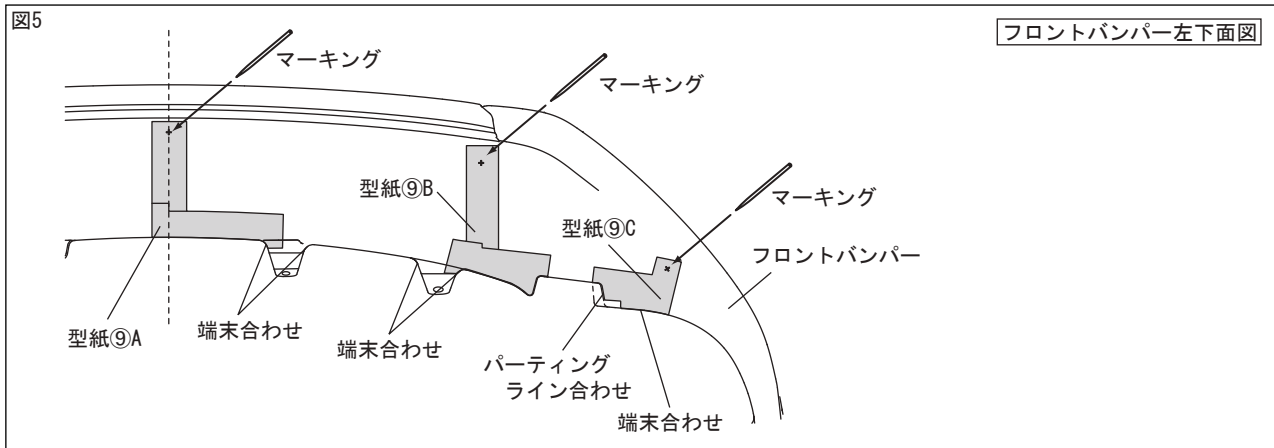
△注意：モール⑪は、二色同梱されています。下記の推奨カラー表を参照してください。

■ モール設定 推奨カラー表

カラーNo.	カラー名	推奨モール色
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	グレー
209	ブラックマイカ	ブラック
221	ブラッキッシュアゲハガラスフレーク	ブラック
3T3	レッドマイカ	ブラック

□取付準備

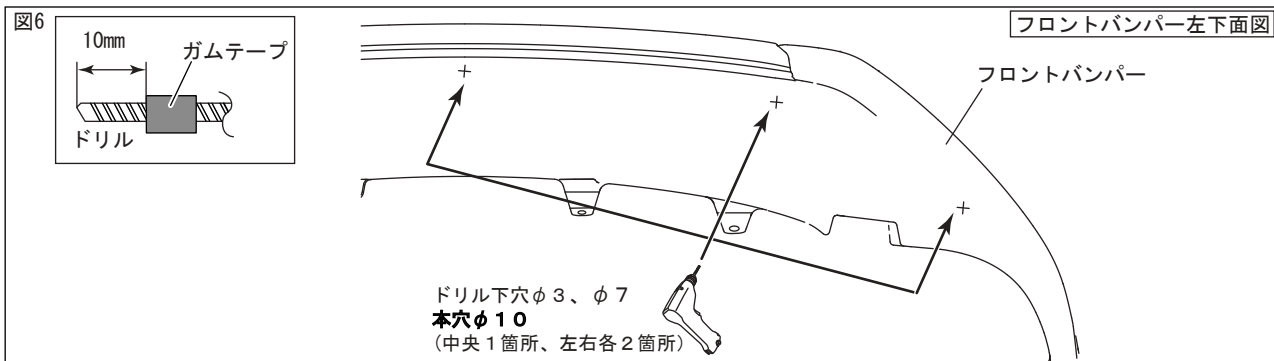
※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



1. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーを取り外す。

⚠注意：取外した車両部品は再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

2. 型紙⑨A/B/Cを剥がし、図5のようにフロントバンパーに貼付け、マーキングする。
(中央1箇所、左右各2箇所)
3. フロントバンパーから型紙を剥がす。

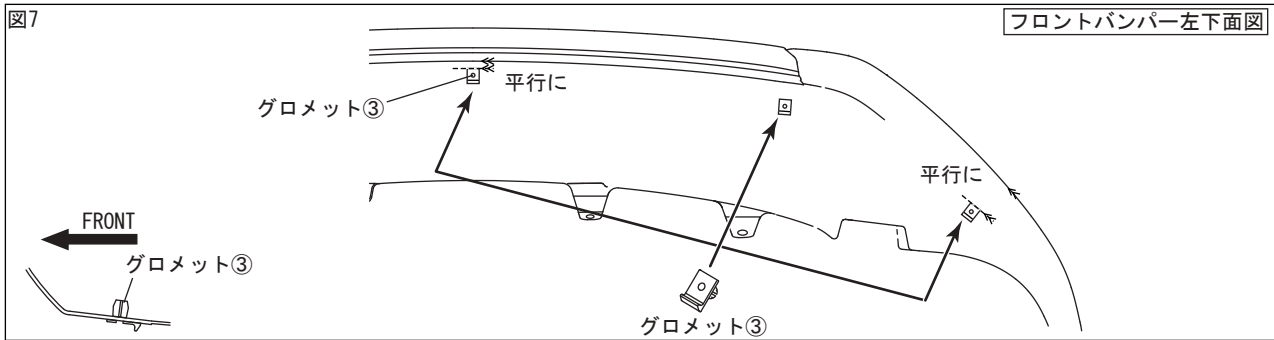


4. 図6のようにφ3、φ7、φ10のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3、φ7のドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。
(中央1箇所、左右各2箇所)
5. 図6のようにφ10のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(中央1箇所、左右各2箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

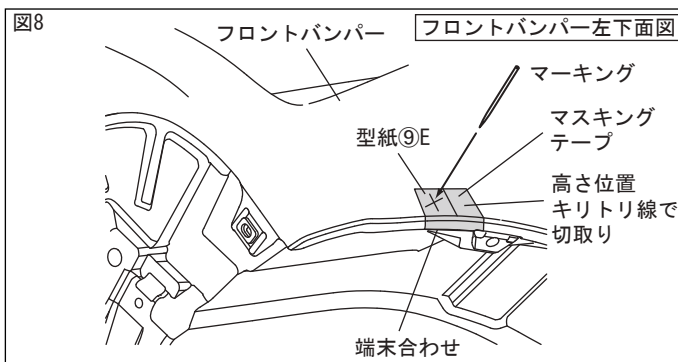
⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。



6. 図7のように前作業で穴あけ加工をした穴にグロメット③を差し込む。(中央1箇所、左右各2箇所)

⚠ 注意：図のようにグロメットの差し込む向きに注意してください。
逆に取付けるとフロントスポイラーが取付かなくなります。

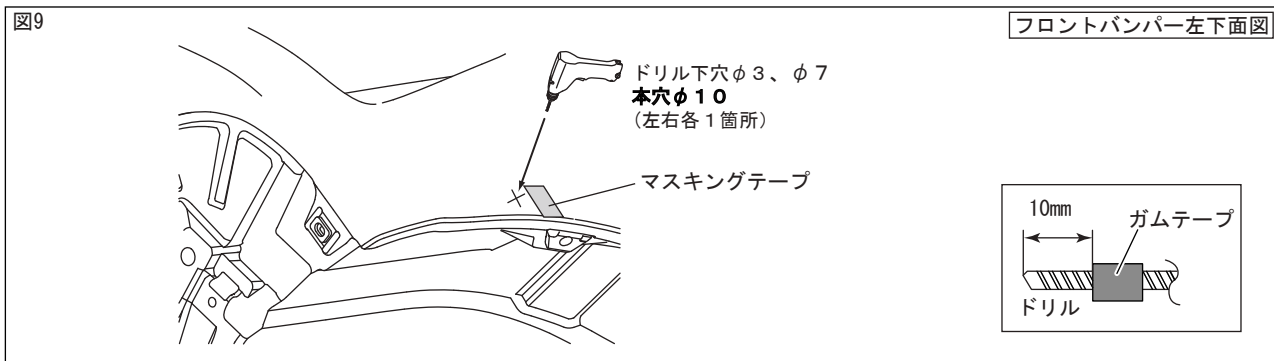


7. 型紙⑨Eを剥がし、図8のようにフロントバンパーのホイールハウス端末部に合わせて貼付け、マーキングする。

(左右各1箇所)

8. 取付高さ位置で切り取りフロントバンパーから型紙⑨Eを剥がす。

(左右各1箇所)



9. 図9のようにφ3、φ7、φ10のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3、φ7のドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。(左右各1箇所)

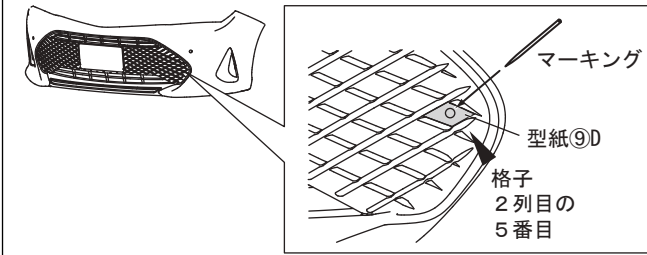
10. 図9のようにφ10のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。(左右各1箇所)

⚠ アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

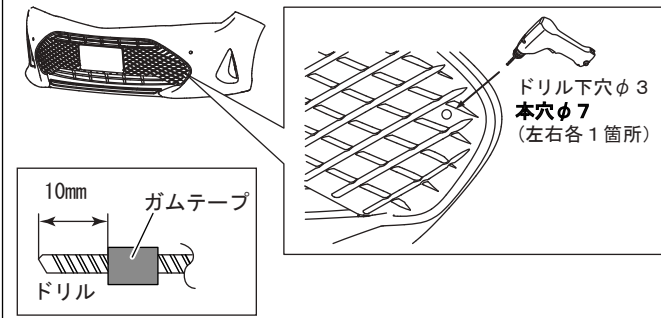
⚠ 注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

図10





11. 型紙⑨Dを剥がし図10のようにフロントバンパーのグリルの格子に合わせて貼付け、マーキングする。(左右各1箇所)
12. フロントバンパーから型紙⑨Dを剥がす。

図11



13. 図11のようにφ3、φ7のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3のドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。(左右各1箇所)
14. 図11のようにφ7のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。(左右各1箇所)

 **アドバイス:** 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

 **注意:** 作業時は保護メガネを着用してください。


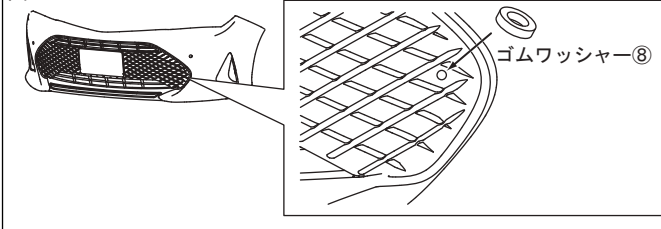
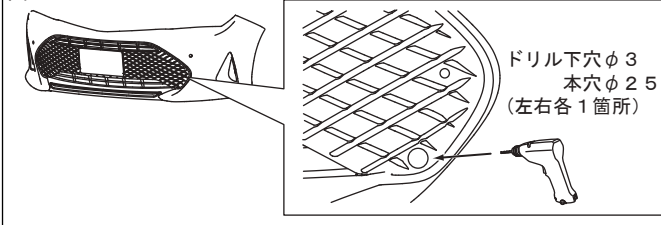
 **注意:** バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

図12



15. 図12のようにフロントバンパーの穴あけした場所に下側にゴムワッシャー⑧を貼り付ける。(左右各1箇所)

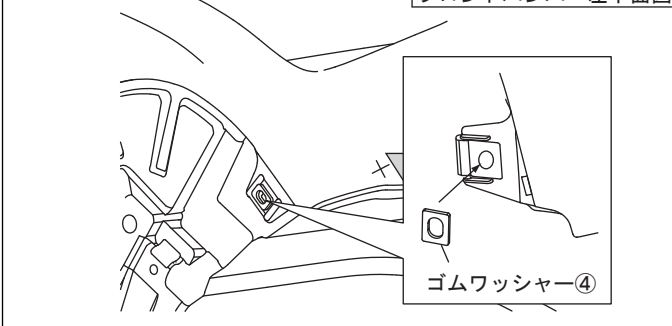
図13



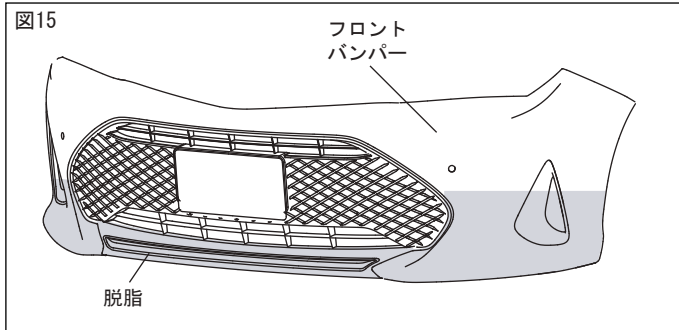
※LED有りの場合のみ作業を行ってください。

16. 図13のようにφ3のドリルを使用して下穴をあけ、φ25のホールソーで本穴をあける。(左右各1箇所)

図14



17. 図14のようにフロントバンパーホイールハウス部の下側にゴムワッシャー④を貼り付ける。(左右各1箇所)



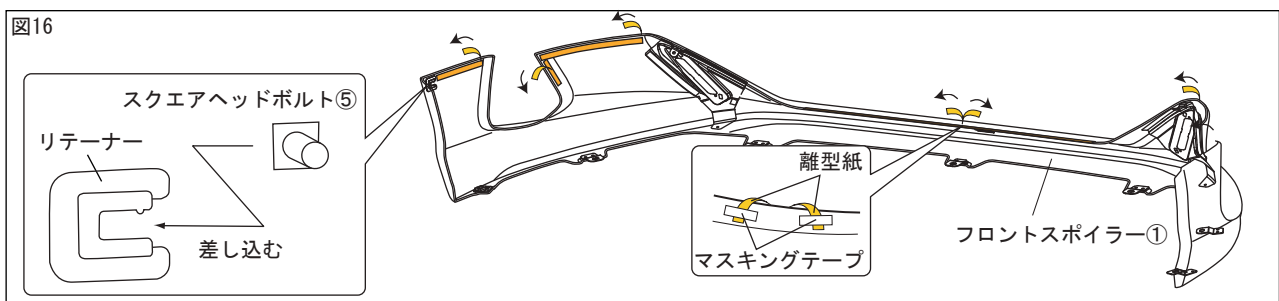
18. 図15のようにフロントスポイラー①取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂する。

⚠注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下、IPAという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

👉アドバイス：脱脂作業要領書（別紙）を参照してください。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

★LEDデイトタイムランプの取付けは、LEDデイトタイムランプ取付要領書に従い、取付け作業を行ってください。



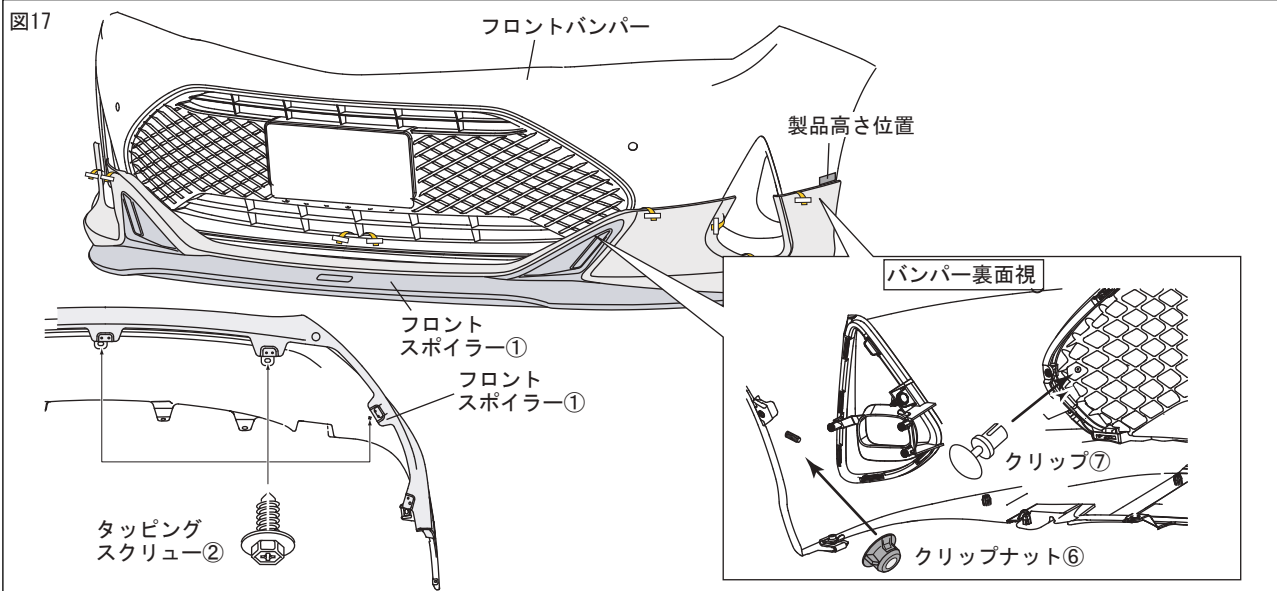
19. 図16の拡大図のようにフロントスポイラー①に付いているリテーナーに、スクエアヘッドボルト⑤を差し込む。
(左右各1箇所)

20. 図16のようにフロントスポイラー①の離型紙を、中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各4箇所)

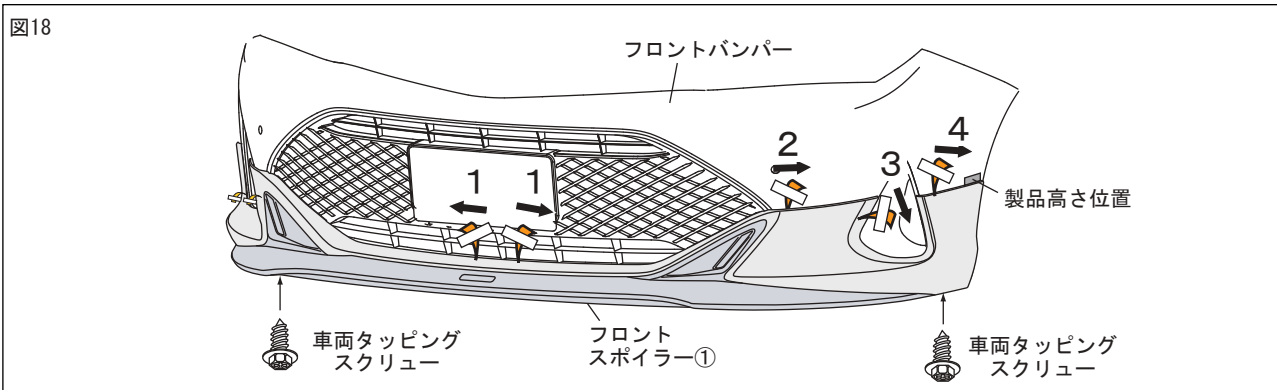
⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

□取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



- 図17のようにフロントバンパーにフロントスポイラー①をかぶせるて、フロントバンパー裏側のホイールハウス部のフロントスポイラー①をクリップナット⑥で仮締めをする。 (左右各1箇所)
- 図17のようにフロントバンパー裏側をクリップで固定する。 (左右各1箇所)
- 図17のようにフロントスポイラー①下面をタッピングスクリュー②とで本締めをする。 (中央1箇所、左右各2箇所)



- 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーを車両に戻す。
- 図18のようにフロントスポイラー①下面を車両タッピングスクリューで本締めをする。 (左右各1箇所)
- 図18のようにフロントバンパーのグリルにフロントスポイラー①の凸部を突き当てて、ホイールハウス部を製品高さ位置に合わせて、左右のズレ、隙が無いか確認し、両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。 {49N (5kgf) 以上} (左右各4箇所)

⚠ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

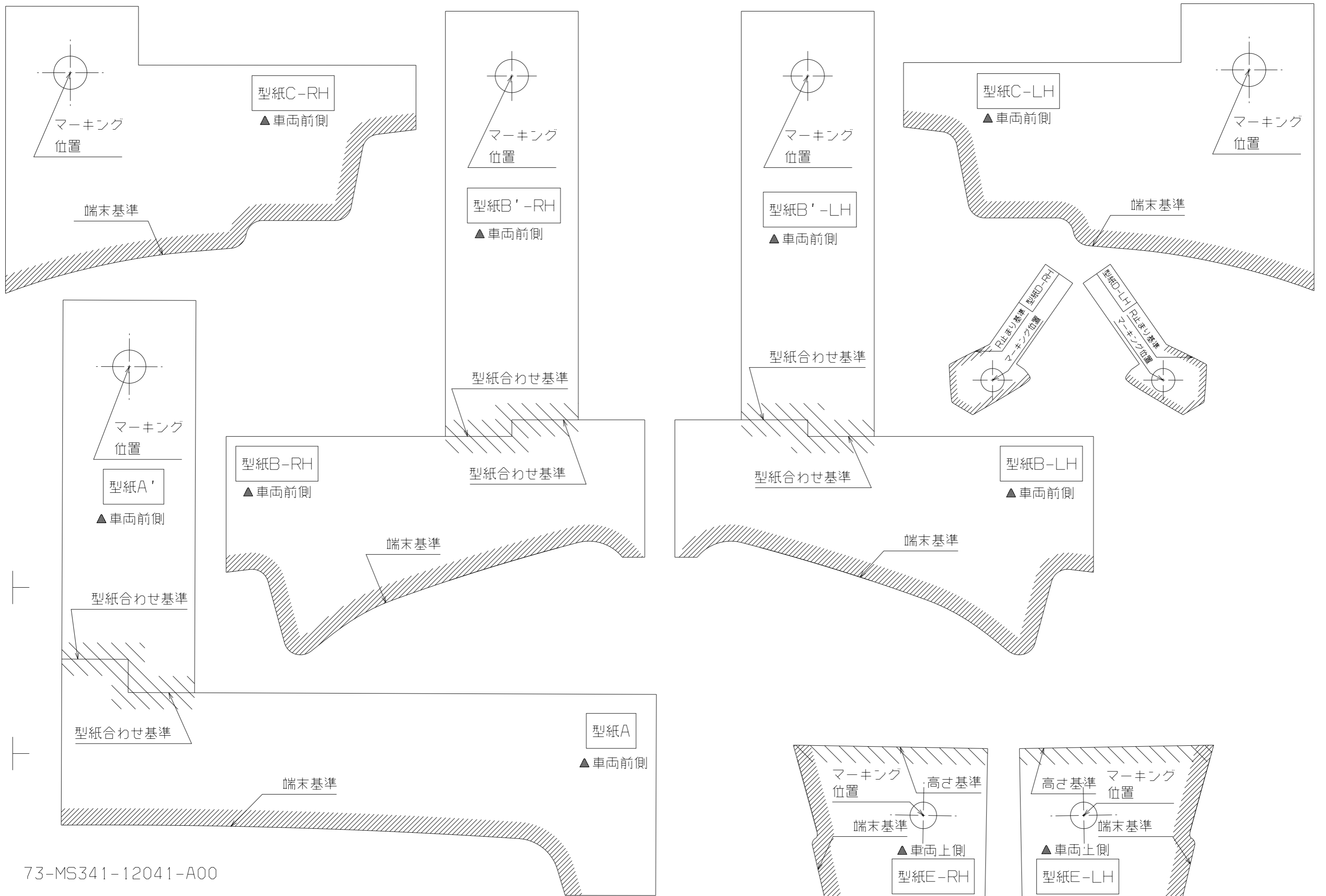
👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

7. 製品高さ位置の型紙をはがし、2. で仮止めしたクリップナット⑤を本締めする。

■取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラーがタッピングスクリュー、クリップナットにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地
TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122
<http://www.trdparts.jp/>



73-MS341-12041-A00



MS343-12008/9/10 リヤバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDリヤバンパースポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS343-12008-A1	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	カラーフィールドター 17.10~
MS343-12008-C0	ブラックマイカ (209)	
MS343-12008-C1	ブラッキッシュアゲハガラスブレーク (221)	
MS343-12009-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	
MS343-12010-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

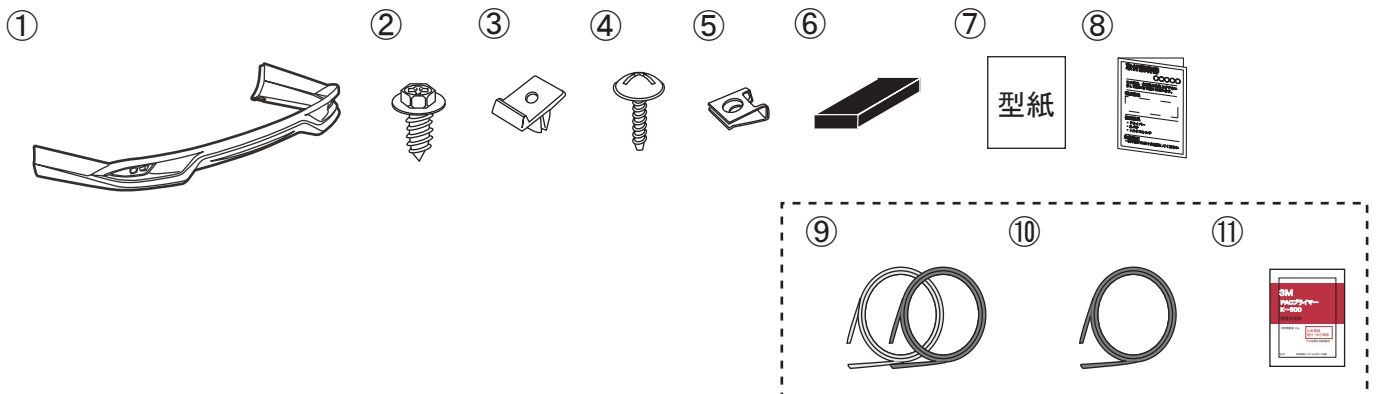
■ 構成部品

No.	品名	個数	備考
①	リヤバンパースポイラー	1	
②	タッピングスクリュー	4	6×16
③	グロメット	4	
④	タッピングスクリュー	2	5×15
⑤	Jナット	2	
⑥	クッション	1	
⑦	型紙	1	
⑧	取付・取扱要領書(本書)	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。
以下、MS343-12009/10-NP(未塗装品セット)のみに同梱

No.	品名	個数	備考
⑨	モール	(各1)	黒/グレー L=950mm
⑩	モール	1	黒 L=1800mm
⑪	PACプライマー	1	K-500




■ 構成部品図



⑩⑪⑫は未塗装品にのみ同梱

取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
 注意	注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。
 アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(I P A) または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が 2 0 ° C 以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は 4 9 N (5 k g f) 以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後 2 4 時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので 7 0 ° C 以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

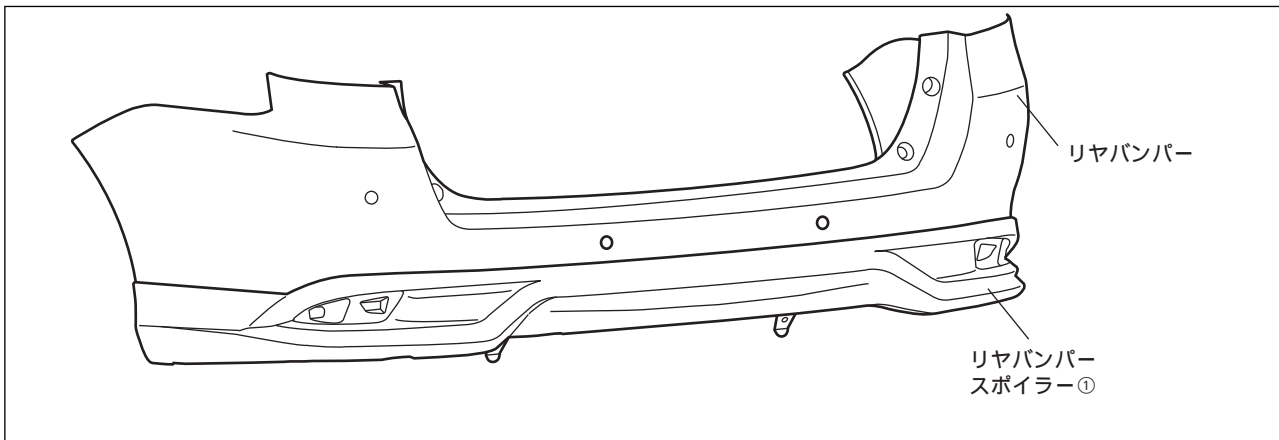
■ 目次

- 1 . 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1
- 2 . 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) 2
- 3 . 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 3
- 4 . 取付け要領 4 ~ 1 1
- 5 . 取付け後の確認・点検 1 1

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター、エアソー、ドリル、キリ、ホルソー等)・ヤスリ
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(I P A)・清潔なウエス

■ 取付構成図

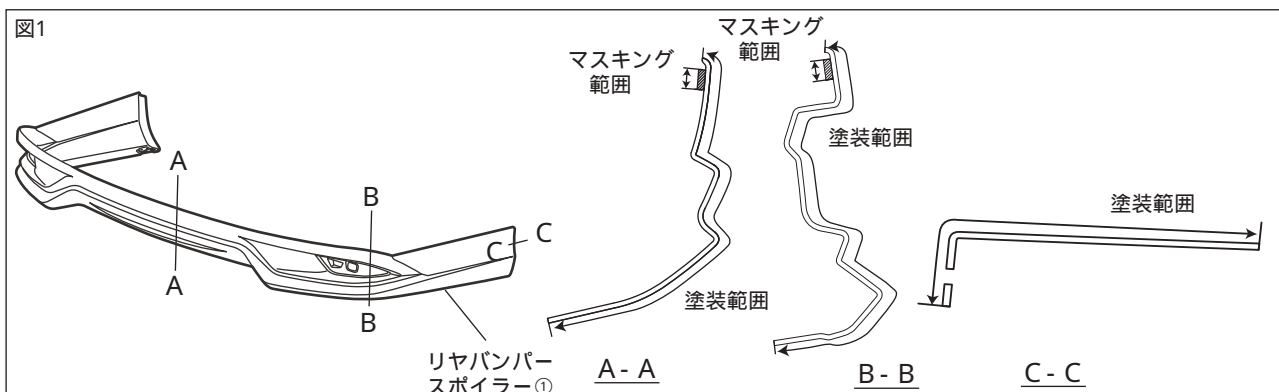


■ 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

□ リヤバンパースポイラーの塗装

※ 本取付・取扱要領書は、主にL Hを示しております、R Hも同様に行ってください。

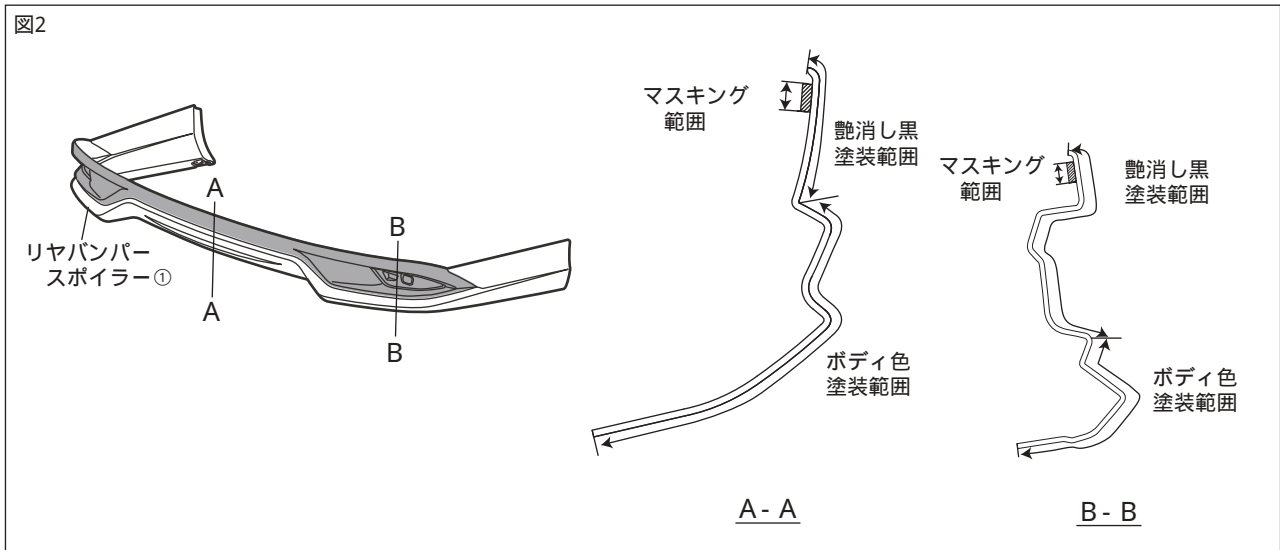


1. 図1のようにリヤバンパースポイラー①をボディ色で塗装する。

- ⚠注意：脱脂をする場合は、I P A又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。
- ⚠注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。
- ⚠注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

□ ツートン塗装

※ 本取付・取扱要領書は、主に LH を示しております、RH も同様に行ってください。

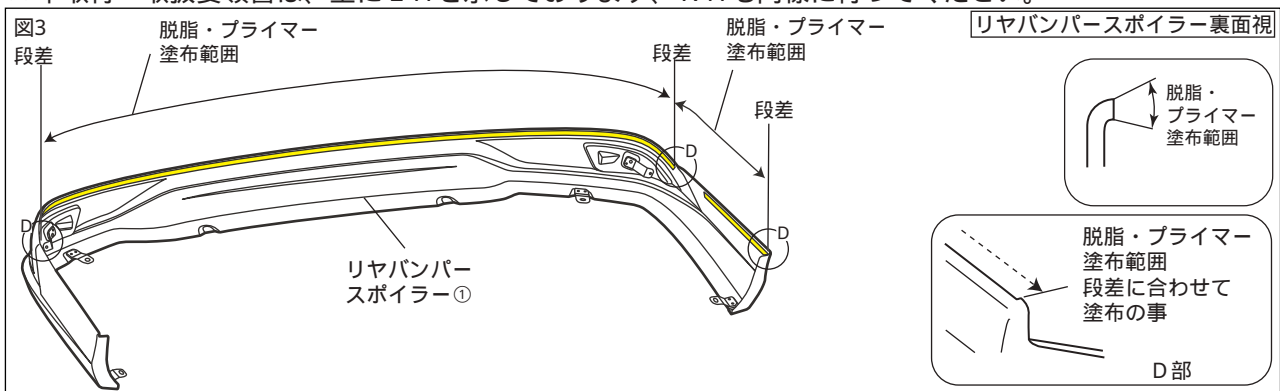


2. 図2のようにボディ色塗装範囲をマスキングし、艶消し黒(グロス10)で塗装する。

- △注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。
- △注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。
- △注意：乾燥温度を70°C以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

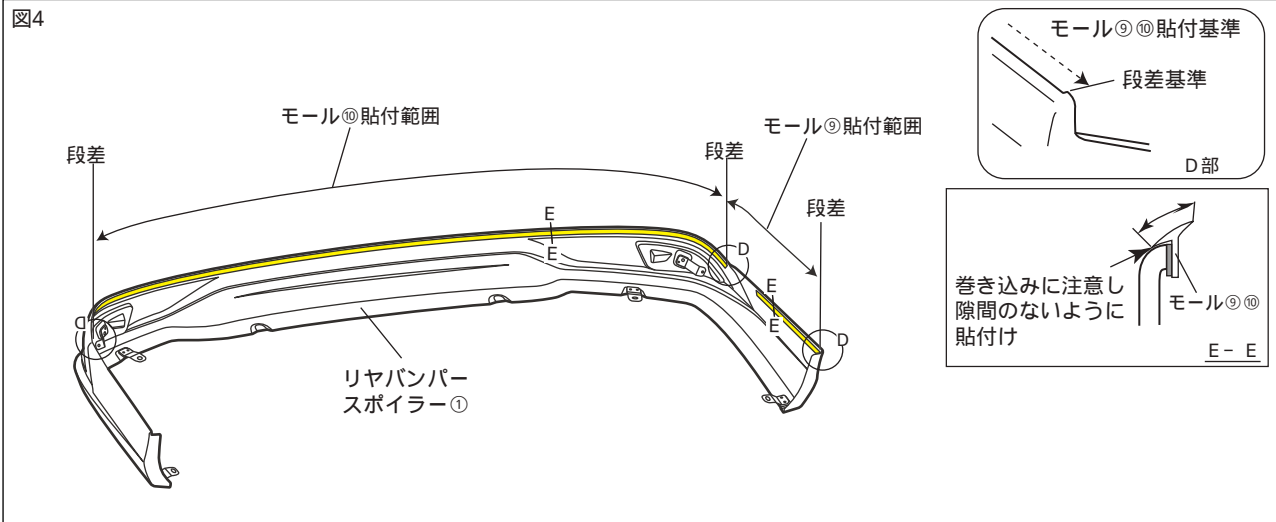
□ モールの貼付け

※ 本取付・取扱要領書は、主に LH を示しております、RH も同様に行ってください。



3. 図3のようにモール貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマー⑩を塗布する。

- △注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。
- 👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



4. 図4のようリヤバンパースポイラー①に、モール⑨⑩の離型紙を剥がしながら、貼付け確実に圧着する。
 { 49N (5kgf) 以上 }

アドバイス：モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

注意：モール⑨は、二色同梱されています。下記の推奨カラー表を参照してください。

■ モール設定 推奨カラー表

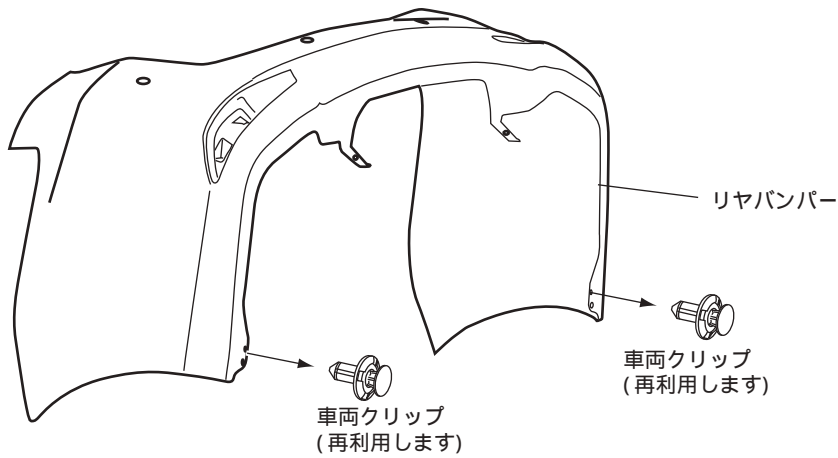
カラーNo	カラー名	推奨モール色
040	スーパーホワイト2	グレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	グレー
1F7	シルバーメタリック	グレー
209	ブラックマイカ	ブラック
221	ブラッシュアップパールガラスフレーク	ブラック
3T3	レッドマイカ	ブラック
3T9	ケルボルトガラスフレーク	ブラック
4R8	オレンジメタリック	ブラック
4V8	アバンギャルドブロンズメタリック	ブラック
4X4	グインテージブラウンパールクリスタルシャイン	ブラック
8T7	ブルーメタリック	ブラック

□ 取付準備

※ 本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

図5

リヤバンパー左下面図



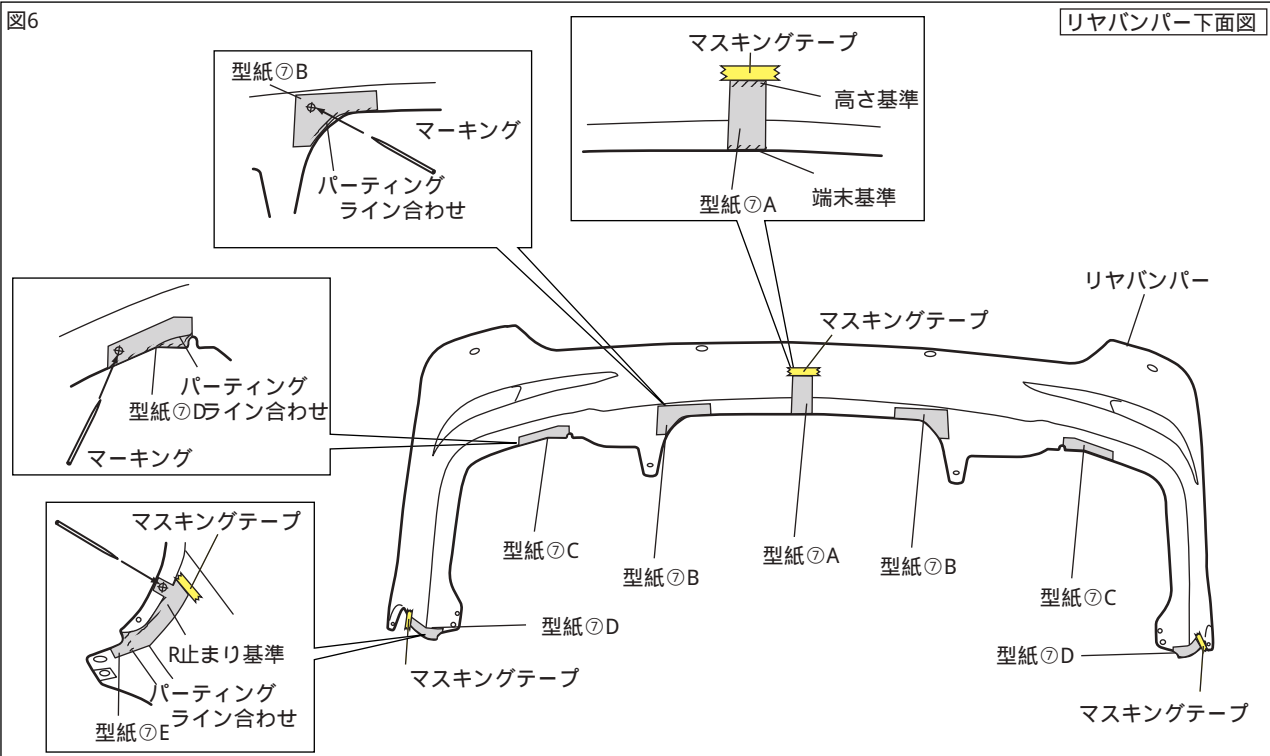
1. 該当車両の修理書に従い、図5のようにリヤバンパーからクリップを取り外す。

(左右各 1箇所)

△注意：取外したフロントスポイラー・車両クリップは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

図6

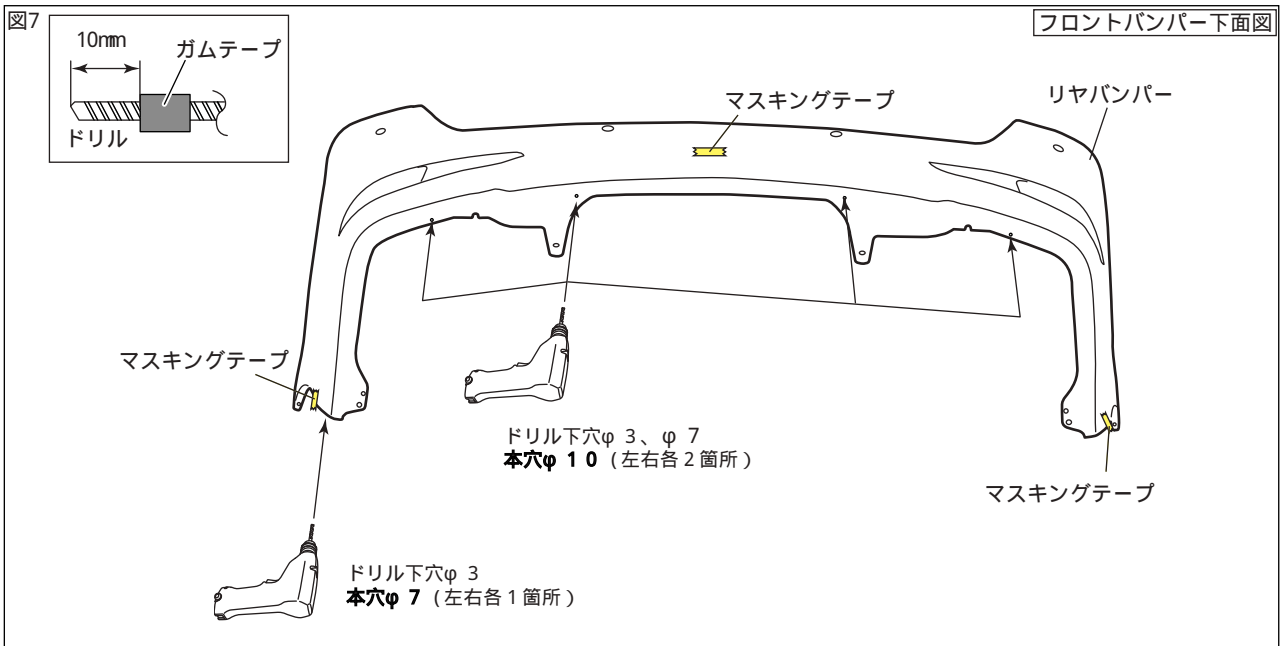
リヤバンパー下面図



2. 型紙①A/B/C/Dを剥がし、図6のようにリヤバンパーに貼付け、マーキングする。

(左右各 2箇所)

3. リヤバンパーから型紙を剥がす。

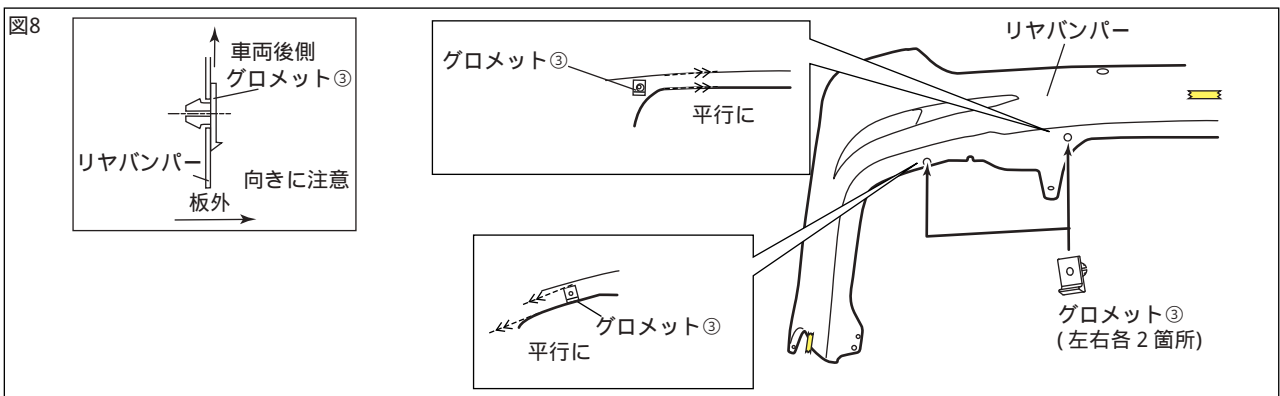


4. 図7のようにφ 3、φ 7、φ 10のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ 3、φ 7のドリルを使用してマーキング位置に下穴、本穴をあける。
(左右各 1箇所)
5. 図7のようにφ 10のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(左右各 2箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

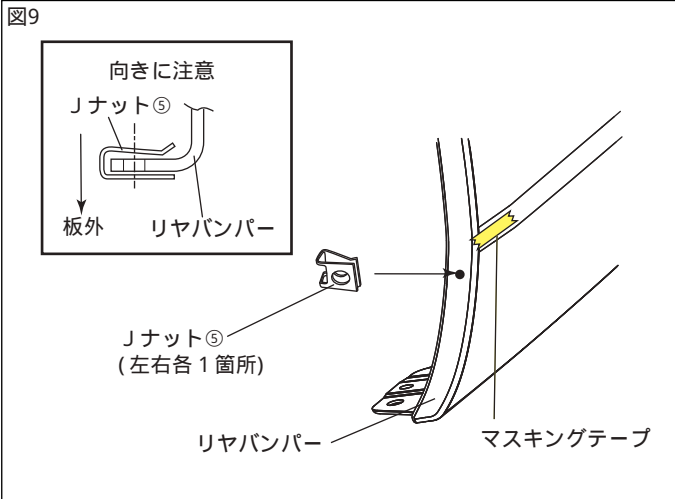
⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ 注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。



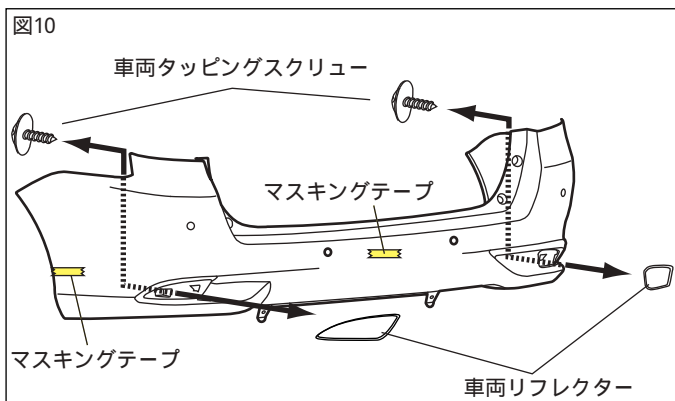
6. 図8のように前作業で穴あけ加工をした穴にグロメット③を差し込む。
(左右各 2箇所)

⚠️ 注意：図のようにグロメットの差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとフロントスポイラーが取付かなくなります。



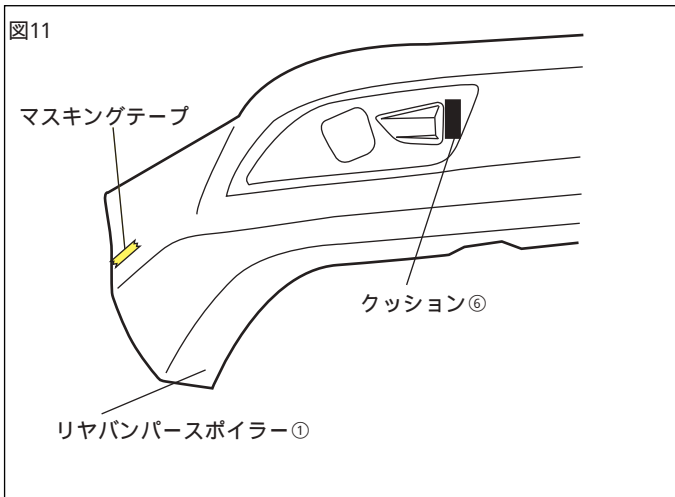
7. 図9のようにリヤバンパーのホイールハウスに、Jナット⑤を差し込む。
(左右各1箇所)

⚠注意：図9のようにJナット⑤の差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリュー④が取付かなくなります。

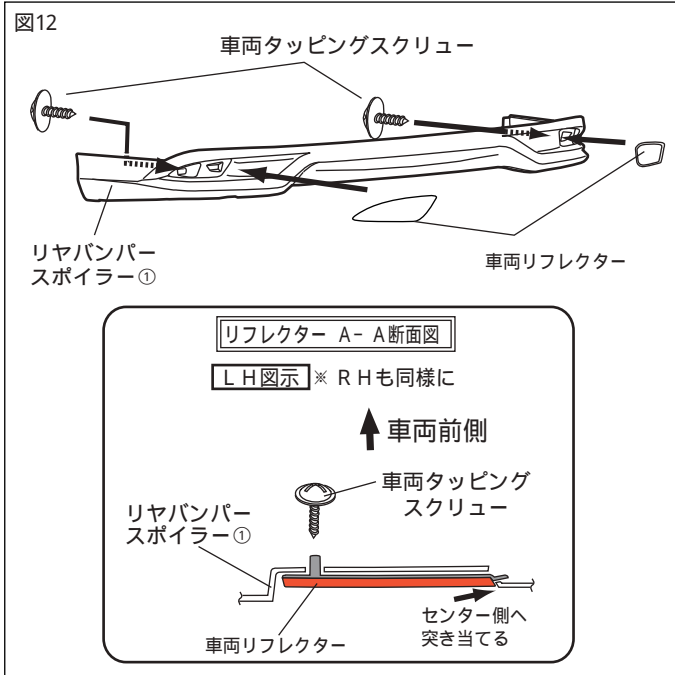


8. 図10のように、リヤバンパー内側からスタッドドライバー等を用いて車両リフレクターを取り外す。(左右各1箇所)

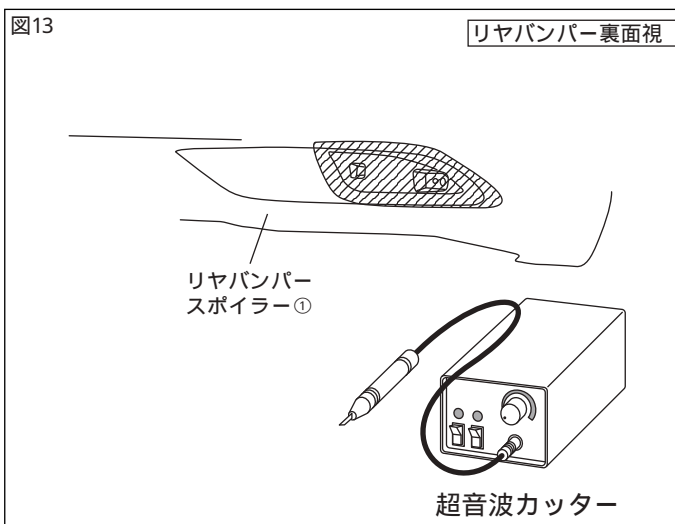
⚠注意：取外した車両タッピングスクリュー、車両リフレクターは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。



9. 図11のように、クッション⑥を30mmにカットしR止まりに張り付ける。
(左右各1箇所)

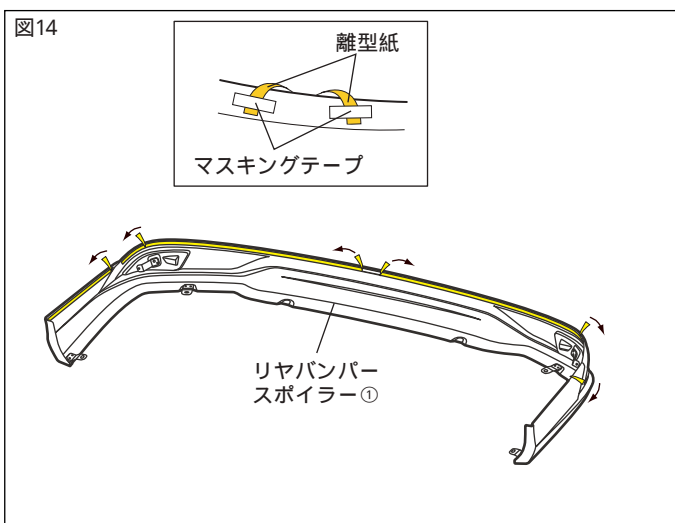


10. 図12のように、取り外した車両リフレクターをリアバンパースポイラー①に車両ビスで取り付ける。
(左右各1箇所)



11. 図13のように、リアバンパー裏面から凹部狙い超音波カッター等を使用し斜線部を切り取る。

(左右各1箇所)

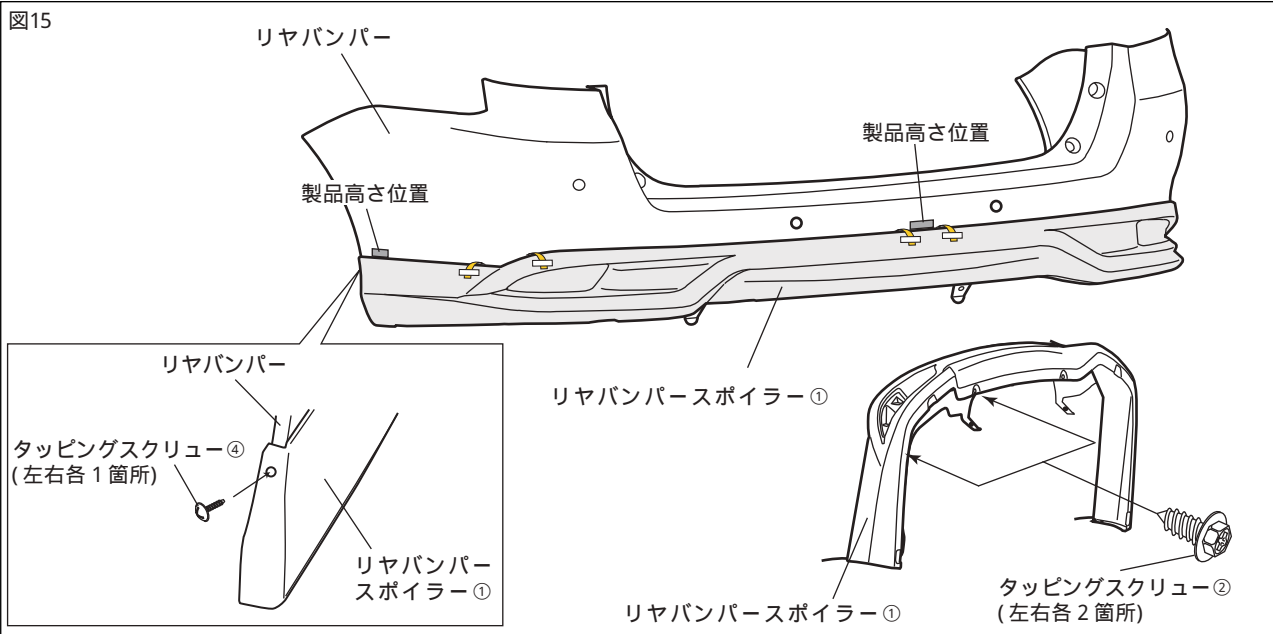


12. 図14のようにリアバンパースポイラー①の両面テープの離型紙を中央から約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(計6箇所)

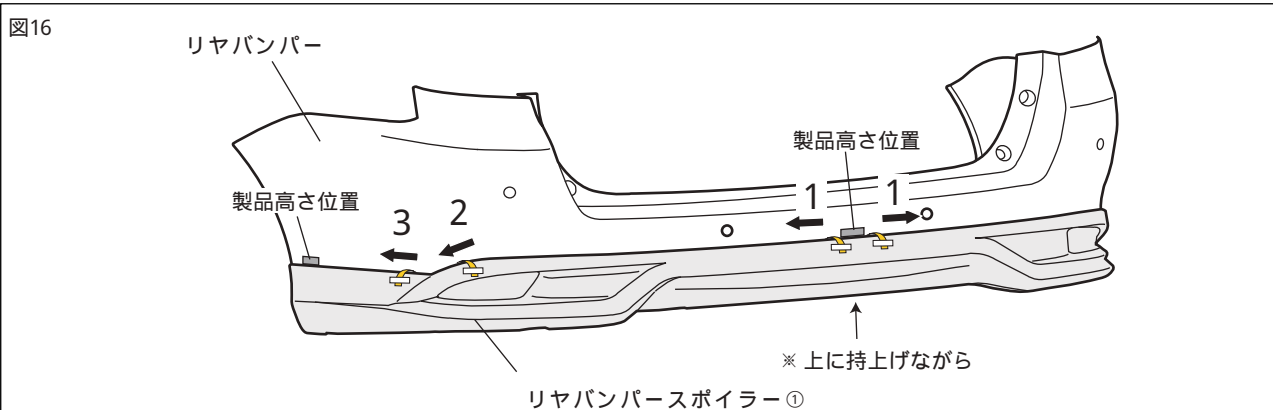
△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

□ 取付要領

※ 本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



1. 図15のようにリアバンパーにリアバンパースポイラー①をかぶせて、下面をタッピングスクリュー②で仮締めする。 (左右各2箇所)
2. 図15のようにホイールハウス部をタッピングスクリュー④で仮締めする。 (左右各1箇所)



3. 該当車両の修理書に従い、リアバンパーを車両に戻す。
4. 図16のようにバンパー中央、ホイールハウス部を製品高さ位置まで持ち上げ、左右のズレ、隙が無いかを確認し、両面テープの離型紙を番号順に剥しながら貼付け圧着する。{ 49 N (5 k g f) 以上 } (左右各3箇所)

⚠ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス: 両面テープの接着力は安定するまでに3~5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

5. 製品高さ位置のマスキングテープをはがし、1. で仮止めしたタッピングスクリュー②、2. で仮止めしたタッピングスクリュー④を本締めする。

■取付完了後の点検・注意事項

1. リヤバンパースポイラー、及びリヤバンパーがタッピングスクリューにて、車両に確実に取付けられていることを確認する。
2. リヤバンパースポイラー及び車両部品にキズなどが無いことを確認する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。
4. 作業完了後、車両修理書に従い各種センサー類・灯火類等の再設定を行う。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-2121

<https://www.trdparts.jp/>



MS320-12013/14/15 フロントグリル

取付・取扱要領書

この度はTRDフロントグリルをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS320-12013	ガンメタリック (21BK06)	カラーアクション カラーフィルダー '17.10~
MS320-12014-A1	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	
MS320-12014-C0	ブラックマイカ (209)	
MS320-12014-C1	フレッシュアゲハガラスレーク(221)	
MS320-12015-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

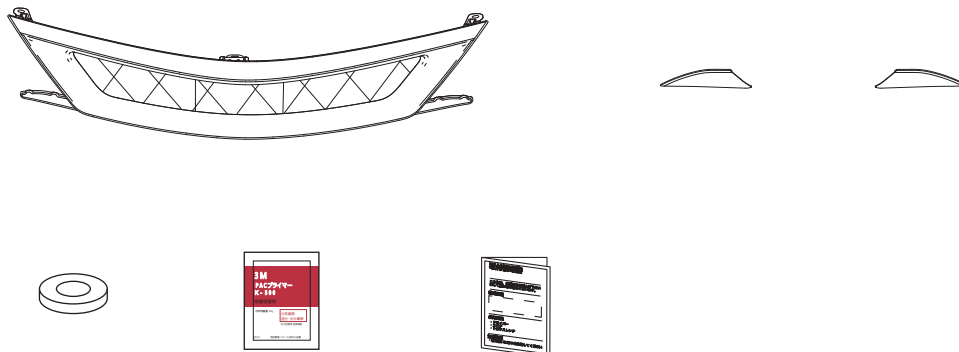
・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品図

	品名	個数	備考
	フロントグリル	1	
	アウター別ピースRH	1	
	アウター別ピースLH	1	
	ラバーワッシャー	2	
	PACプライマー	1	
	取付・取扱要領書(本書)	1	本書

確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品



取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20 以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70 以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

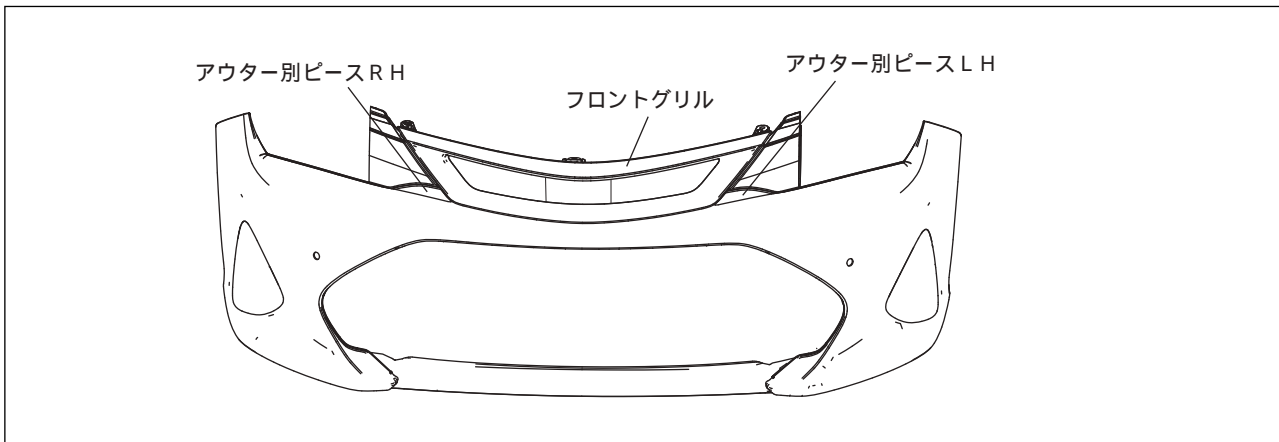
目次

- 1 . 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1
- 2 . 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) 2
- 3 . 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 3
- 4 . 取付け要領 3 ~ 7
- 5 . 取付け後の確認・点検 7

取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター、エアソー、ドリル、キリ、ホルソー等)・ヤスリ
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

取付構成図

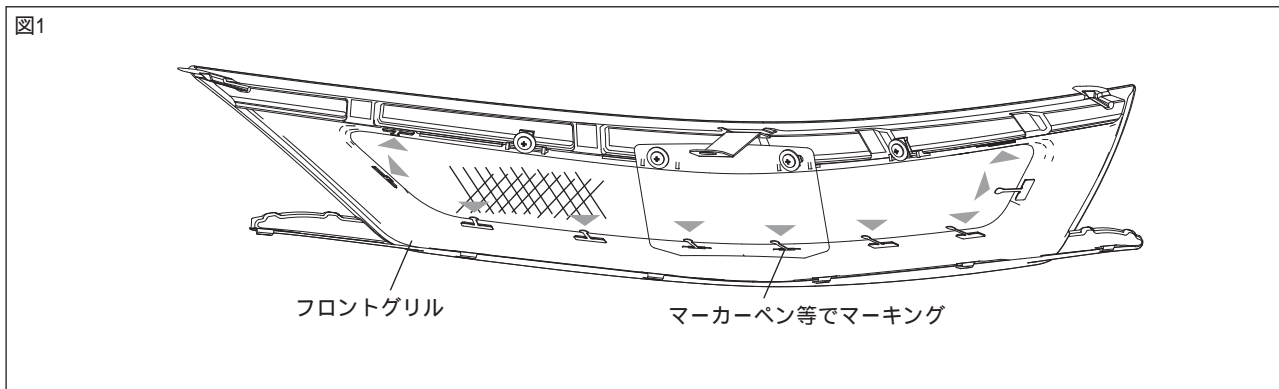


未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

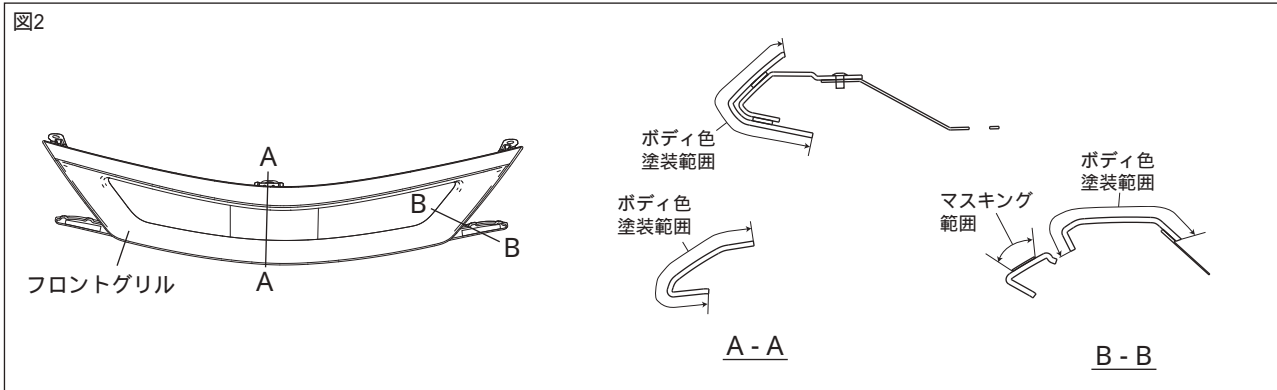
フロントグリルの塗装

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



1. 図1のようにフロントグリル の網の止め位置をマーカーペン等でマーキングし、網とプレートを取り外す。

△注意：マーキングはオモテ側からみえないようにして下さい。

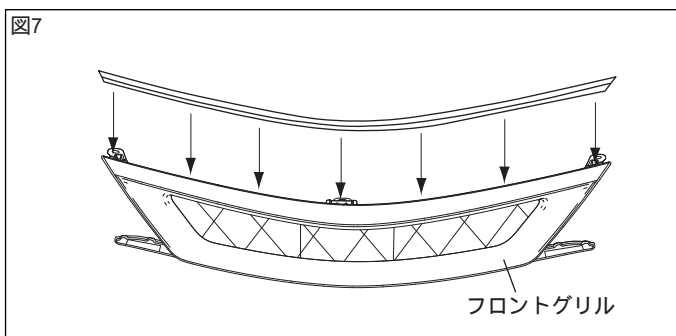
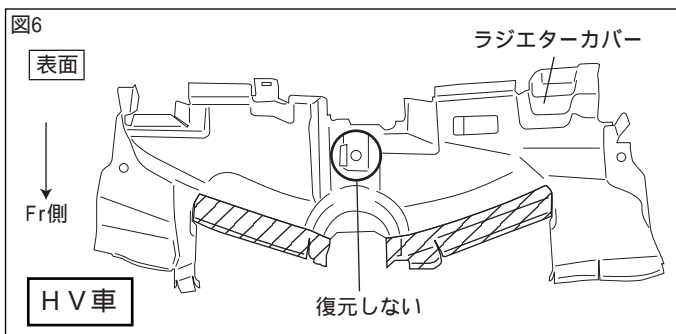
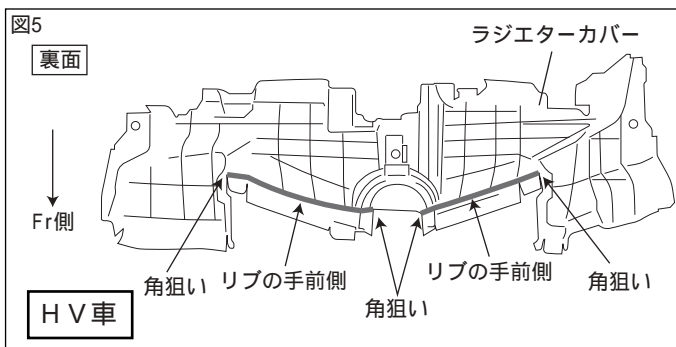
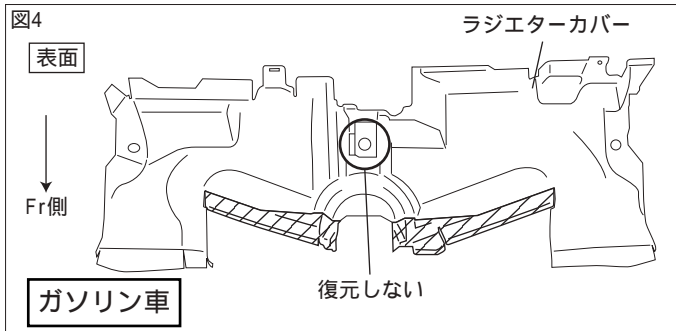
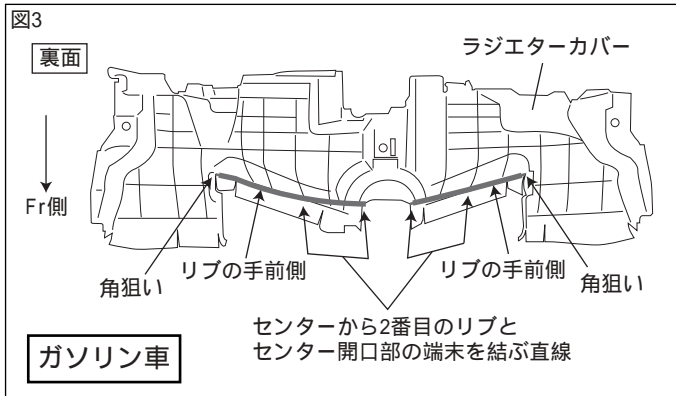


△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

3. 図1で取外したフロントグリル と網とプレートをマーキングした位置で取付ける。



取付準備

1. 車両修理書に従い、純正フロントグリルおよびフロントバンパーを取外す。

⚠注意：取外した車両ボルトとクリップは、再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

ガソリン車

2. ラジエーターカバーを取外し、図3のようにラジエーターカバーにマスキングテープ等でマーキングをする。

3. 図4のようにラジエーターカバーのマーキング位置（斜線部）を、カッター等で切り取り、バリを取り除く。

⚠注意：カットする際に、怪我に注意してください。

4. ラジエーターカバーを車両に復元する。

⚠注意：センター部の車両クリップは復元しないで下さい。

HV車

2. ラジエーターカバーを取外し、図5のようにラジエーターカバーにマスキングテープ等でマーキングをする。

3. 図6のようにラジエーターカバーのマーキング位置（斜線部）を、カッター等で切り取り、バリを取り除く。

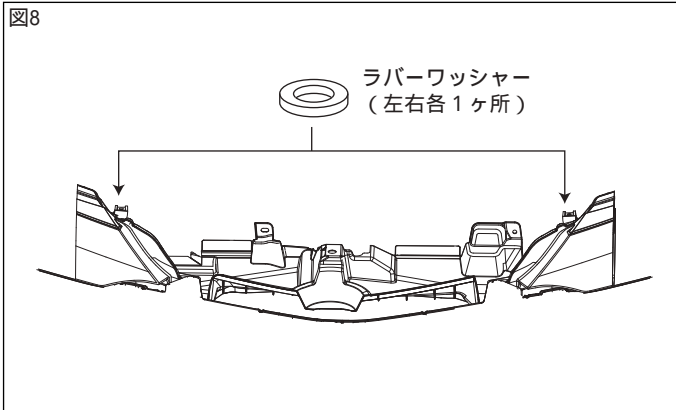
⚠注意：カットする際に、怪我に注意してください。

4. ラジエーターカバーを車両に復元する。

⚠注意：センター部の車両クリップは復元しないで下さい。

5. 純正フロントグリルからウェザーストリップを取外す。

6. 図7のように、フロントグリルにウェザーストリップを取付ける。

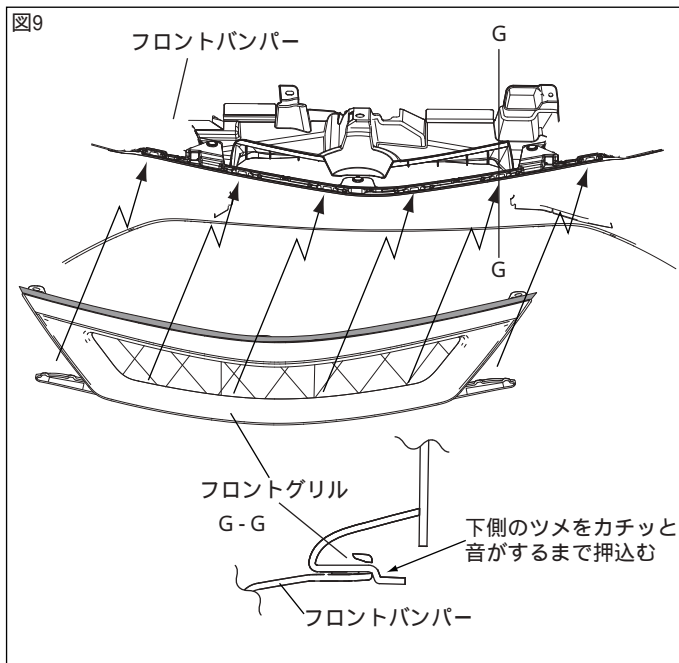


取付要領

1. ラバーワッシャー 取付部の清掃を行い、ホワイトガソリン又はIPAで一方向に拭いて脱脂する。(左右各1ヶ所)

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

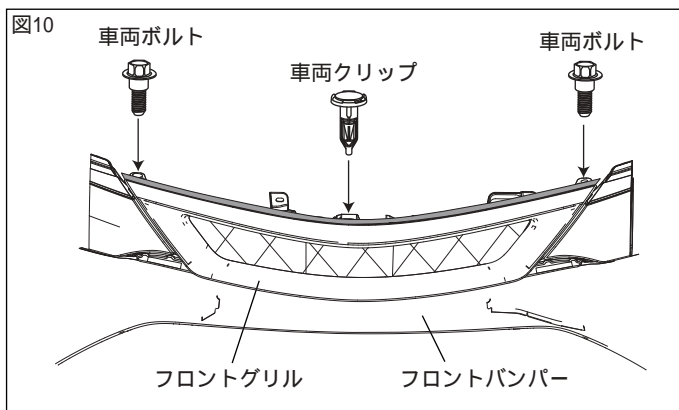
2. 図8のように脱脂したラバーワッシャー 取付部にラバーワッシャー を貼付ける。



3. 図9の断面図のように脱フロントバンパーにフロントグリル 下側のツメを差し込む。(左右各3ヶ所)

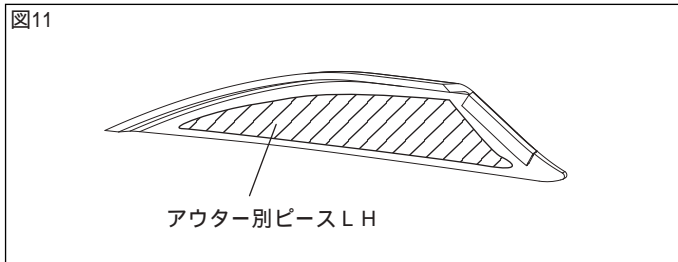
⚠注意：下側のツメはカチッと音がするまで確実に押し込んでください。

4. 車両修理書に従い、フロントバンパーを復元する。



5. 図10のように車両クリップ (1ヶ所) で固定し、車両ボルト (左右各1ヶ所) で仮締めする。
6. フロントグリル の左右の隙間が均等か確認し、仮締めしておいた車両ボルトを本締めする。(左右各1ヶ所)

図11



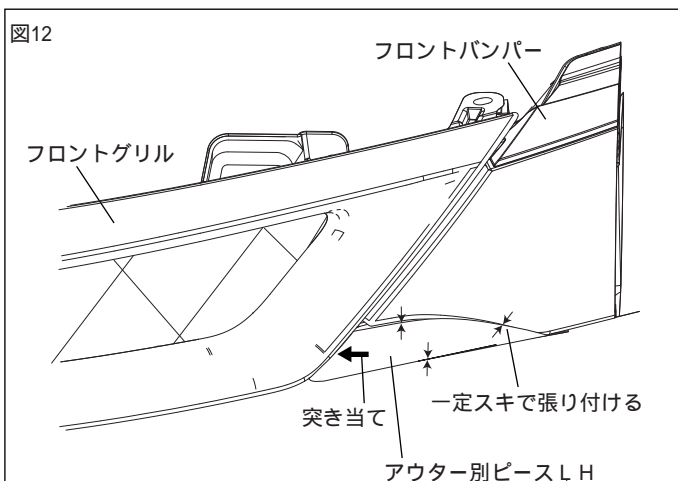
7. 図11のようにテープ貼付部の汚れを取除き、ホワイトガソリン又はIPAで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーを塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。



アドバイス：脱脂、プライマーと富居は、10分以上乾燥させてください。

図12



8. 図12のようにバンパーとの隙間が均等になるようにアウター別ピースを貼付ける。
(左右各1ヶ所)

取付完了後の点検・注意事項

1. フロントグリル、及びフロントバンパーがタッピングスクリュー、クリップにて、車両に確実に取付けられていることを確認する。
2. フロントグリル及び車両部品にキズなどが無いことを確認する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。
4. 車両のランプ類等の機能点検を行う。
5. 作業完了後、車両修理書に従い各種センサー類・灯火類等の再設定を行う。



MS 153-12014

ハイレスポンスマフラーVer.S

'10.04～ 新規制対応商品 取付・取扱説明書

この度はフィールダー用TRDハイレスポンスマフラーをお買い上げ頂きありがとうございます。
 開封時に必ず構成部品がある事、及び、商品の外観、傷、凹み等をご確認下さい。取付け後に判明しましても
 対応しかねる場合がございます。本書には上記品の取付要領と取扱について記載してあります。
 取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付、取扱を実施して下さい。なお本書は必ずお客様にお渡し下さい。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません。取付けは登録後に行ってください。

■品番・適合

品番	適合車種	型式	エンジン	年式	備考
MS153-12014	カローラフィールダー	ZRE162G	2ZR-FAE	'12.05～	

■構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	テールパイプマフラー		1	
②	取付・取扱要領書（本書）		1	

・ガスケットは同梱されておりません、別途手配をお願いします。

■取付上の注意

- (1) 本商品は「道路運送車両法の保安基準」を満足していますので、一般公道でも安心してご使用頂ける保安基準適合マフラーです。但し、マフラー以外の改造を行っている場合、又は使用状況等によってはその限りではない場合もありますのでご了承下さい。
 TRDスポルティーボサスペンション、エアロパーツとの同時装着は問題ございません。
TRD製品以外のエアロパーツとは同時装着が出来ない場合がありますのでご承知おき下さい。
- (2) 保安基準適合の為、取付は純正と同様、触媒やシールド等を取外さず、必ず上記適合車種に取付けて下さい。

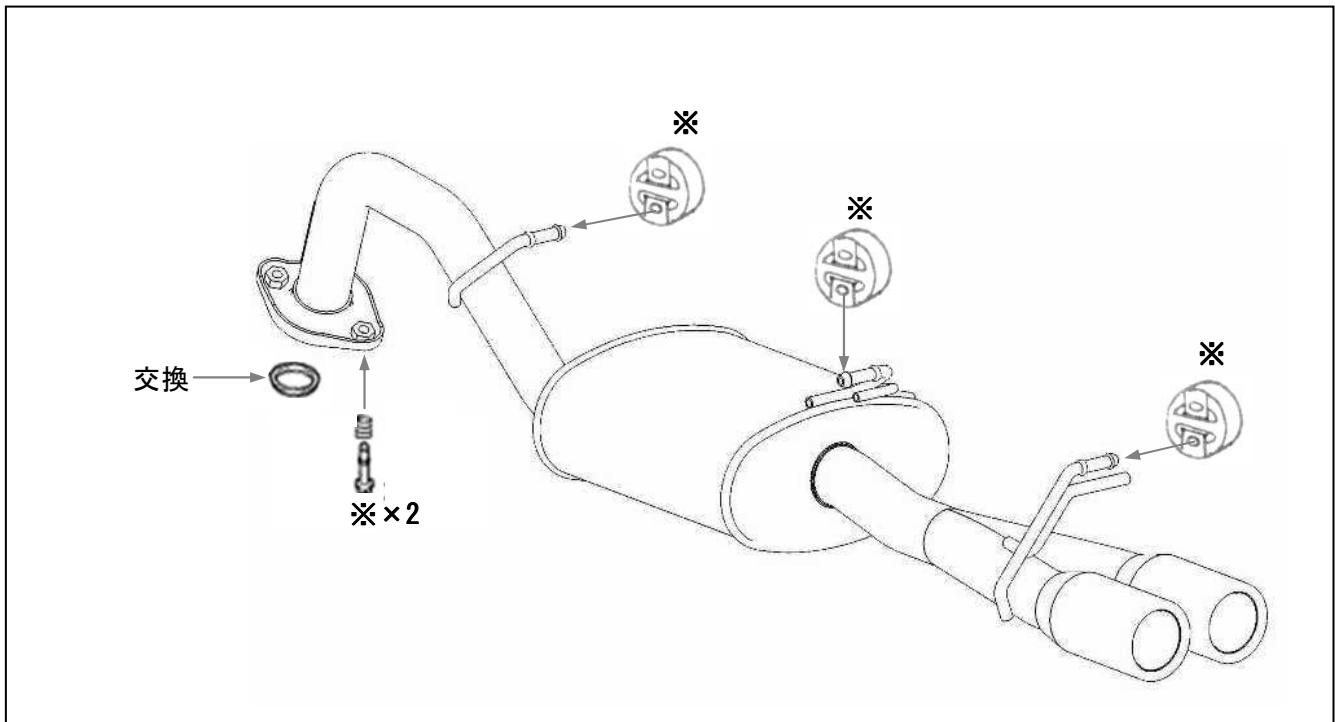
- ⚠注意 (1) 本商品の交換、取付作業は必ず設備の整った専門の整備工場で行って下さい。
- ⚠注意 (2) 交換の際は、必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行って下さい。（マフラーガスケットに尽いては走行距離に係らず交換を推奨します）
- ⚠注意 (3) 交換の際は、エンジンを停止して冷却を確認してから行って下さい。火傷や事故の原因となる場合があります。
- ⚠注意 (4) 取付後は換気の良いところで排気漏れや干渉がないか必ず確認して下さい。正しく装着されていないと保安基準に適合することが出来ません。
- ⚠警告 (1) 車高を下げた改造を伴う場合、最低地上高90mm（注1）を確保して下さい。
 （注1：車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります）
- ⚠警告 (2) 車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合、路面との干渉にご注意下さい。
- ⚠警告 (3) 本商品の分解・加工は絶対しないで下さい。破損や事故の原因となります場合があります。
- ⚠警告 (4) 本品を適合車種以外には絶対に使用しないで下さい。破損や故障の原因となります場合があります。



トヨタテクニクス株式会社

〒222-0002 横浜市港北区師岡町800 TEL (045)540-2121 FAX (045)540-2122

構成図(※は再使用して下さい)



■仕様

エキゾーストパイプ部 : パイプ径 $\phi 50.8\text{mm}$ (SUS材)
 出口バツフル部 : テール径 $\phi 70.0\text{mm}$ (SUS材)

■取付要領

- (1) 純正のテールパイプを修理書(トヨタ自動車株 発行)に従って取外す。
- (2) 車両側パイプのフランジ部にガスケットを取付け、構成品①のテールパイプフランジを車両側のエキゾーストパイプに重ねサポートゴムを架ける。
- (3) 締結ボルトを仮締めで取付ける。

△注意 : 車両側パイプとの締結ボルト、サポートゴムは純正品を再使用します。
 ガスケットは新品に交換し、車両側パイプとの締結は仮締めとして下さい。

- (4) テールパイプ出口がバンパー及び、他の部位と干渉していない事を確認しながら車両側パイプとの締結ボルトを修理書記載の指定トルクで締付ける。
- (5) エンジンを始動しアイドル状態で10分程の暖機運転を行い、接合部の排気洩れを点検する。
- (6) 最後に5Km程の通常走行を実施し、各部ボルトの緩み、テール部の位置等を確認する。

■ 取扱上の注意（ご使用になるお客様へ）

- ⚠警告（1）車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm（注1）**を確保して下さい。
（注1：車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります）
- ⚠警告（2）車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず現車にて**最低地上高90mm**を確保し、路面との干渉には十分ご注意下さい。
- ⚠注意（1）取付直後の走行時、異臭の発生がありますが異常ではありません。いつまでも消えない時は整備工場にて点検を受けて下さい。そのまま走行を続けると、破損や事故の原因となる場合があります。
- ⚠注意（2）本商品を取付けますとエンジン回転のフィーリングに変化が生じます。車両に慣れるまではエンジン回転に十分注意して走行して下さい。事故の原因となる場合があります。
- ⚠注意（3）枯れ草や紙屑など燃えやすい物の近くを走行したり駐停車はしないで下さい。火災や事故の原因となる場合があります。
- ⚠注意（4）運転中に不具合（異音、振動等）が発生した場合は、直ちに車を安全な場所に停車させ、専門の整備工場にて点検を行って下さい。そのまま走行を続けると、破損や事故の原因となる場合があります。
- ⚠注意（5）マフラーに凍結防止剤（塩化カルシウム等）が付着した場合は速やかに流水洗浄して下さい。付着したままで御使用になられますと、マフラーの変色および錆の原因となります。
- ⚠注意（6）通常の使用におきましても排気管出口（テール出口部）は冷熱の繰返しにより、多少色味が変化する場合がありますが、異常ではありません。
- ⚠注意（7）走行直後のマフラーは非常に高温となっております。その為、触れると火傷の恐れがあります。荷物の出し入れやお子様の接近等、十分に注意して下さい。